

資料編

1 計画策定の経緯

(1) 岩見沢市子ども・子育て会議及び専門部会における審議経過

①子ども・子育て会議開催状況

■第1回 令和元年5月24日(金)

- 協議事項 岩見沢市子ども・子育てプラン 平成30年対象事業の評価について
第2期子ども・子育て支援事業計画に向けた新たな課題等について
第2期子ども・子育て支援事業計画策定のためのニーズ調査の調査項目について

■第2回 令和元年7月29日(月)

- 諮問 市長から子ども・子育て会議会長あて
第2期岩見沢市子ども・子育て支援事業計画の内容等について
- 報告事項 第2期子ども・子育て支援事業計画策定のためのニーズ調査等の経過について
- 協議事項 第1期子ども・子育て支援事業計画の評価と課題について
第2期子ども・子育て支援事業計画の方向性について
専門部会の設置について

■第3回 令和元年9月30日(月)

- 報告事項 子どもの安全と安心に関する専門部会(第1回)の報告について
- 協議事項 第2期子ども・子育て支援事業計画に係るニーズ調査等の結果について
教育・保育ほか量の見込みと確保策について

■第4回 令和元年10月21日(月)

- 報告事項 子どもの安全と安心に関する専門部会(全2回)の報告について
ニーズ調査等の結果(追加分)について
- 協議事項 第2期岩見沢市子ども・子育て支援事業計画の骨子について

■第5回 令和元年11月25日(月)

- 報告事項 子ども・子育て支援事業計画策定のためのニーズ調査
自由意見の集計結果について
子ども・子育て支援セミナーの開催結果について
- 協議事項 第2期岩見沢市子ども・子育て支援事業計画の素案概要について
市民意見の募集について

■第6回 令和2年1月20日（月）

報告事項 第2期子ども・子育てプラン素案概要に対する意見募集について（結果）
子ども・子育て支援セミナー第2部講演記録について

協議事項 子ども・子育てプランの変更について
子ども・子育てプランの進捗状況について
第2期子ども・子育てプランの答申案について
第2期子ども・子育てプランの素案について

■第7回 令和2年2月28日（金）

答 申 子ども・子育て会議会長から市長あて
第2期岩見沢市子ども・子育て支援事業計画の内容等について

②子どもの安全と安心に関する専門部会開催状況

■第1回 令和元年9月5日（木）

協議事項 子育て世帯の現状と課題
「子どもの貧困対策」に関わる国及び北海道の取り組みと本市の現状
ニーズ調査等結果
札幌市児童相談所の事例にみる課題

■第2回 令和元年10月7日（月）

報告事項 第1回専門部会の協議内容について（振り返り）
岩見沢地区地域療育推進協議会「療育講演会」報告
協議事項 第2期計画に盛り込む施策の方向性について

専門部会員名簿

| 区分 | 氏名 | 立場 |
|--------|--------|-------------------|
| 専門部会委員 | ◎平野 直己 | 大学教授（心理） |
| 専門部会委員 | 藤根 美穂 | 小児科医 |
| 専門部会委員 | 福多 範子 | 行政（保健師） |
| 専門部会委員 | 梅田 英世 | 公募委員 |
| 特別委員 | 横田 晃嗣 | 児童養護施設代表 |
| 特別委員 | 伊藤 忍 | 行政（スクールソーシャルワーカー） |
| 助言者 | 下山 修平 | 児童相談所代表 |
| 助言者 | 佐武 学美 | 行政（保健師） |
| 助言者 | 菊地 さおり | 地域子育て支援センター代表 |

◎：部会長

（敬称略）

(2) 計画策定のために実施した調査・広報等

①第2期子ども・子育て支援事業計画策定のためのニーズ調査

調査対象 就学前児童のいる世帯 1,500 世帯
小学生児童のいる世帯 1,796 世帯

調査時期 令和元年7月

調査方法 無作為抽出・郵送法

配布・回収結果（白票等を除く有効回収数）

| 種別 | 配布数 | 有効回収数 | 有効回収率 |
|-------|-------|-------|-------|
| 就学前児童 | 1,500 | 670 | 44.7% |
| 小学生 | 1,796 | 772 | 43.0% |

②子ども・子育てに関するアンケート調査（一般市民向け）

調査対象 一般市民

調査時期 令和元年7月

調査方法 広報いわみざわ7月号での用紙折込による郵送・FAX、市HP入力フォーム

回収結果 286件（郵送238件、FAX30件、ホームページ18件）

③虐待リスクの高い家庭に関するアンケート調査（事業所向け）

調査対象 幼稚園、保育園のほか児童療育施設などの事業所54か所

調査時期 令和元年7月

調査方法 郵送法

回収方法 48件（回収率88.9%）

④広報 第2期子ども・子育てプラン素案に対する意見募集

内 容 素案概要に基づく意見募集「子どもたちの笑顔のために」

方 法 意見募集用紙（定型）を用い、窓口持参・郵送・FAX、市HP入力フォーム

期 間 令和元年12月2日～23日

結 果 意見なし

⑤広報 子ども・子育て支援セミナー

日 時 令和元年11月20日（水）16:00～17:20

会 場 岩見沢市生涯学習センターいわなび

内 容 第2期子ども・子育てプラン説明 ～ 教育委員会

講話「子どもひとりを育てるには、1つのまちが必要です」

北海道教育大学札幌校臨床心理学研究室 平野 直己さん

結 果 参加者80名

意 見 8件提出

2 岩見沢子ども・子育て会議

(1) 岩見沢子ども・子育て会議条例

平成 25 年 9 月 17 日
条例第 27 号

(設置)

第 1 条 岩見沢市における子ども・子育て支援に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子ども・子育て支援法(平成 24 年法律第 65 号。以下「法」という。)第 77 条第 1 項の規定に基づき、岩見沢市子ども・子育て会議(以下「子育て会議」という。)を置く。

(組織)

第 2 条 子育て会議は、委員 12 人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が任命し、又は委嘱する。

(1) 法第 6 条第 2 項に規定する保護者

(2) 子ども・子育て支援(法第 7 条第 1 項に規定する「子ども・子育て支援」をいう。以下同じ。)に関する事業に従事する者

(3) 子ども・子育て支援に関し学識経験がある者

(4) 前 3 号に掲げる者のほか、市長が必要と認める者

3 前項第 1 号の委員は、2 人以内とし、市長が定める手続により公募して選考する。

(委員の任期)

第 3 条 委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第 4 条 子育て会議に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、子育て会議を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(特別委員)

第 5 条 市長は、子育て会議に特別の事項を調査させるため必要があるときは、特別委員を置くことができる。

2 特別委員は、市長が必要と認める者のうちから市長が任命し、又は委嘱する。

3 特別委員は、その者の任命又は委嘱に係る事項に関する調査が終了したときは、解任され、又は解職されるものとする。

(部会)

第 6 条 子育て会議は、専門の事項を調査審議するため必要があるときは、部会を置くことができる。

2 部会は、会長が指名する委員及び特別委員をもって組織する。

3 部会に部会長を置き、当該部会に属する委員のうちから会長が指名する。

4 部会長は、当該部会の事務を掌理する。

5 部会長に事故があるときは、当該部会に属する委員のうちから部会長があらかじめ指名する委員が、その職務を代理する。

(議事)

第 7 条 子育て会議は、会長が招集し、会長がその議長となる。

2 子育て会議は、委員の半数以上の出席がなければ会議を開き、議決することができない。

3 子育て会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

4 前 3 項の規定は、部会の議事について準用する。この場合において、前 3 項中「子育て会議」とあるのは、「部会」と、「会長」とあるのは、「部会長」とする。

(関係者の出席等)

第8条 会長又は部会長は、それぞれ子育て会議又は部会において必要があるときは、関係者の出席を求め、その意見若しくは説明を聴き、又は関係者から必要な資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第9条 子育て会議の庶務は、岩見沢市教育委員会事務局において処理する。

(子育て会議の運営)

第10条 この条例に定めるもののほか、議事の手続その他子育て会議の運営に関し必要な事項は、会長が子育て会議に諮って定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

(2) 岩見沢子ども・子育て会議委員名簿

(令和2年2月28日現在)

| 区 分 | 氏 名 | 立 場 |
|-----------------------|--------|----------------|
| 学識経験者 | ◎平野 直己 | 大学教授(心理) |
| 学識経験者 | 寅嶋 静香 | 大学准教授(スポーツ医学) |
| 学識経験者 | 藤根 美穂 | 小児科医 |
| 子ども・子育て支援に関する事業に従事する者 | 岸 めぐみ | 岩見沢私立幼稚園連合会代表 |
| 子ども・子育て支援に関する事業に従事する者 | 佐藤 善樹 | 岩見沢市法人立保育園連盟代表 |
| 子ども・子育て支援に関する事業に従事する者 | 吉田 幸雄 | 児童養護施設代表 |
| 子ども・子育て支援に関する事業に従事する者 | 石垣 正公 | 児童館代表 |
| 子ども・子育て支援に関する事業に従事する者 | 藤田 雅子 | 子育て支援団体代表 |
| 行政関係機関 | 福多 範子 | 行政(保健師) |
| 子どもの保護者 | 梅田 英世 | 公募委員 |
| 子どもの保護者 | ○泉 久美子 | 公募委員 |

◎：会長、○：副会長

(敬称略)

3 アンケート調査結果の概要（報告書抜粋）

（1）岩見沢市の子ども・子育てに関するニーズ調査

1. 目的

岩見沢市では、平成27（2015）年3月に「岩見沢市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、教育・保育・子育て支援の充実を進めてきました。

今回、令和2（2020）年度を初年度とする「第2期岩見沢市子ども・子育て支援事業計画」の策定に向けて、岩見沢市における教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を把握・算出する必要があるため、市民の皆様の教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」についての調査を実施しました。

2. 調査の概要

前掲

3. 調査結果

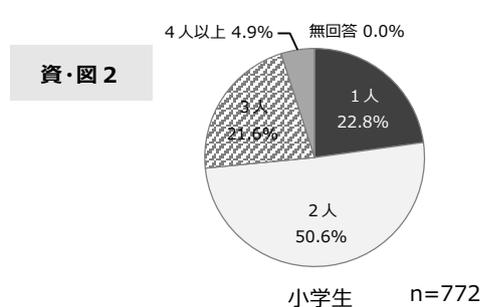
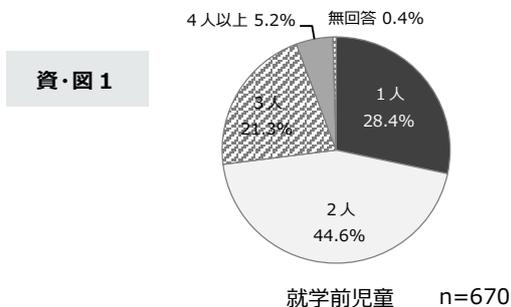
（1）子どもの家族の状況

①きょうだいの人数

| | | |
|-------|-----|--|
| 就学前児童 | 問 3 | 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を□内に数字でご記入ください。 |
| 小学生 | 問 3 | 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を□内に数字でご記入ください。 |

就学前児童では、「2人」が44.6%と最も高く、次いで「1人」(28.4%)、「3人」(21.3%)、「4人以上」(5.2%)と続いています。人数の平均は、平均2.0人。

小学生では、「2人」が50.6%と最も高く、次いで「1人」(22.8%)、「3人」(21.6%)、「4人以上」(4.9%)と続いています。人数の平均は、2.1人。



②同居している家族

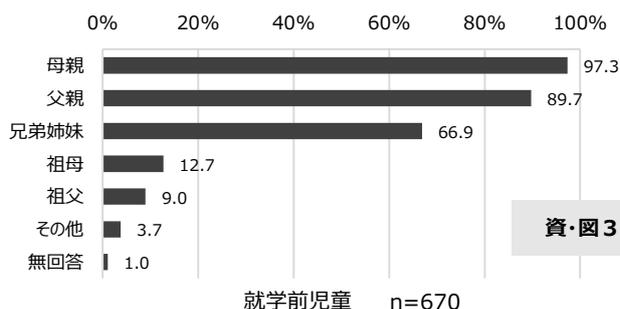
| | | |
|-------|-----|---|
| 就学前児童 | 問 4 | 宛名のお子さんと同居されている方すべてに○をつけてください（続柄は、宛名のお子さんからみた関係でお答えください）。また、同居している家族全員（ご両親とお子さんを含む）の人数をご記入ください。 |
| 小学生 | 問 4 | 宛名のお子さんと同居されている方すべてに○をつけてください（続柄は、宛名のお子さんからみた関係でお答えください）。また、同居している家族全員（ご両親とお子さんを含む）の人数をご記入ください。 |

就学前児童では、「母親」が97.3%と最も多く、次いで「父親」(89.7%)、「兄弟姉妹」(66.9%)、「祖母」(12.7%)、「祖父」(9.0%)と続いています。

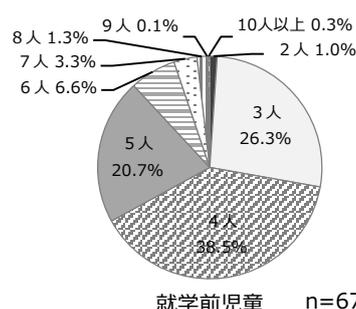
また、家族全員の人数は、「4人」が38.5%と最も多く、次いで「3人」(26.3%)、「5人」(20.7%)、「6人」(6.6%)、などの順となっています。

小学生では、「母親」が98.2%と最も高く、次いで「父親」(82.8%)、「兄弟姉妹」(72.4%)、「祖母」(13.3%)、「祖父」(9.1%)と続いています。

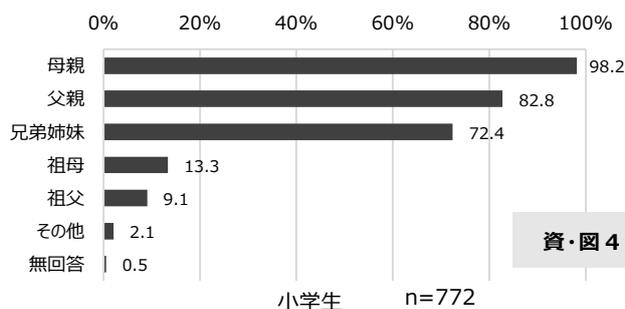
また、家族全員の人数は、「4人」が44.4%と最も高く、次いで「3人」(21.5%)、「5人」(19.8%)、「6人」(6.1%)などの順となっています。



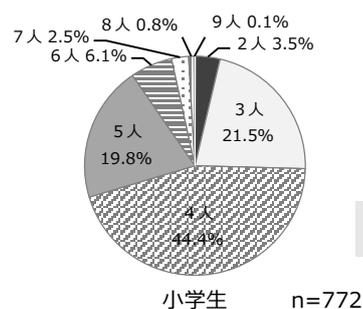
資・図3



資・図5



資・図4



資・図6

(2) 子どもの育ちをめぐる環境

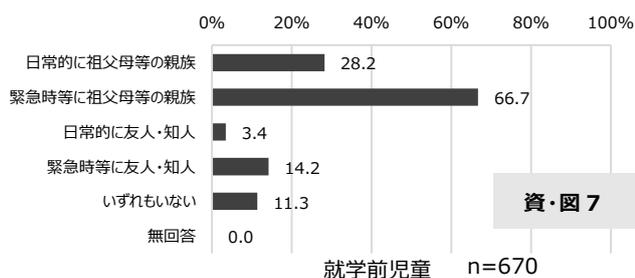
① 日常的に世話を頼める状況

就学前児童 問 8 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

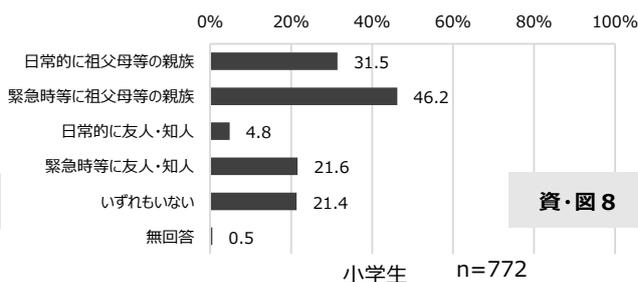
小学生 問 6 お住まいの近く（おおむね 30 分以内）に、お子さんの世話を頼める親族や友人・知人などはいますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

就学前児童では、「緊急時等に祖父母等の親族」(66.7%) が最も高く、「日常的に祖父母等の親族」(28.2%)、「緊急時等に友人・知人」(14.2%)、「日常的に友人・知人」(3.4%) の順で続き、「いずれもない」は 11.3% となっています。

小学生では、「緊急時等に祖父母等の親族」(46.2%) が最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族」(31.5%)、「緊急時等に友人・知人」(21.6%)、「日常的に友人・知人」(4.8%) の順で続き、「いずれもない」は 21.4% となっています。



資・図7



資・図8

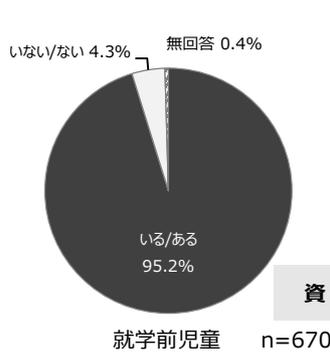
② 子育てや教育に関する相談状況

就学前児童 問 9-1 宛名のお子さんの子育てや教育に関して、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまるもの 1 つに○をつけてください。

問 9-2 問 9-1 で「1」に○をつけた方にうかがいます。
気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

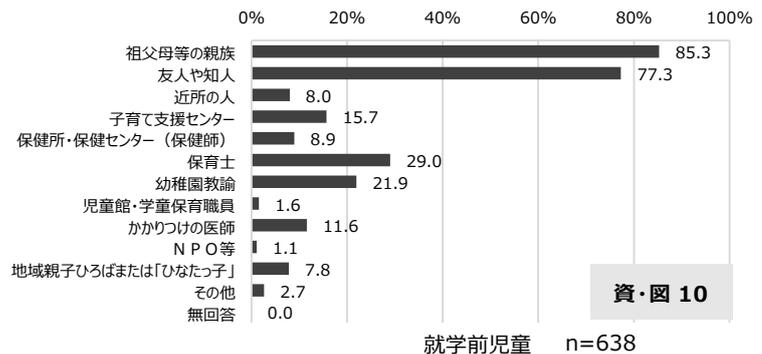
就学前児童では、気軽に相談できる人や場所が、「いる/ある」との回答が 95.2%、「いない/ない」は 4.3% となっています。

具体的な相談先は、「祖父母等の親族」が 85.3% と最も高く、続く「友人や知人」(77.3%) とともに回答を集めています。以降「保育士」(29.0%)、「幼稚園教諭」(21.9%)、「子育て支援センター」(15.7%)、「かかりつけの医師」(11.6%)、「保健所・保健センター（保健師）」(8.9%)、「近所の人」(8.0%)、「地域親子ひろばまたは「ひなたっ子」」(7.8%) などが続いています。世帯年収 200 万円未満では、相談できる先がない割合が 10.9% と全体よりも高くなっています。



資・図 9

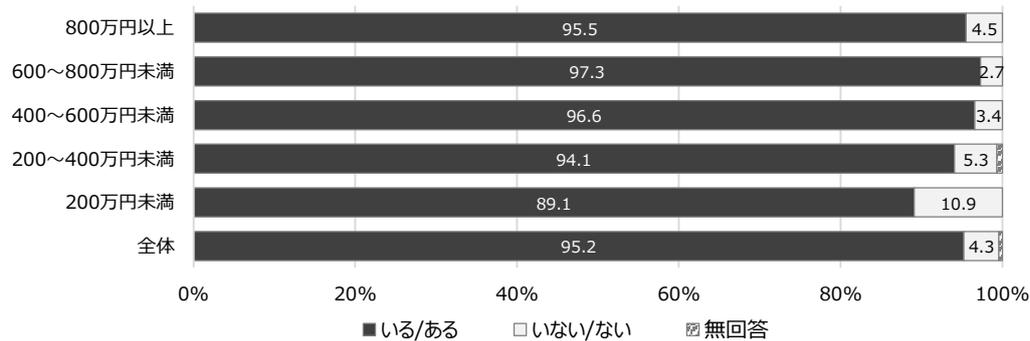
就学前児童 n=670



資・図 10

就学前児童 n=638

就学前児童 子育てや教育を気軽に相談できる人や場所：世帯年収別 n=670

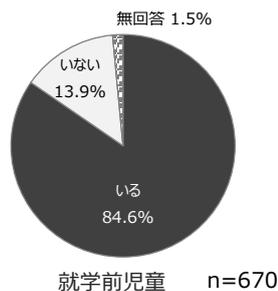


資・図 11

③ 医療の状況／かかりつけ医の有無

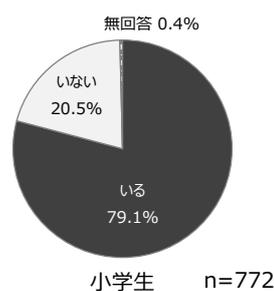
就学前児童 問 10-1 宛名のお子さんにかかりつけの医師はいますか。当てはまるもの 1 つに○をつけてください。
 小学生 問 7-1 宛名のお子さんにかかりつけの医師はいますか。当てはまるもの 1 つに○をつけてください。

就学前児童では、「いる」が84.6%、「いない」が13.9%となっています。
 小学生では、「いる」が79.1%、「いない」が20.5%となっています。



資・図 12

就学前児童 n=670



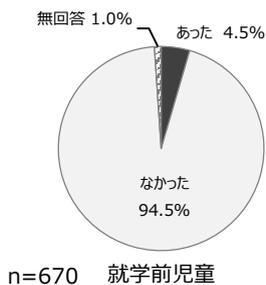
資・図 13

小学生 n=772

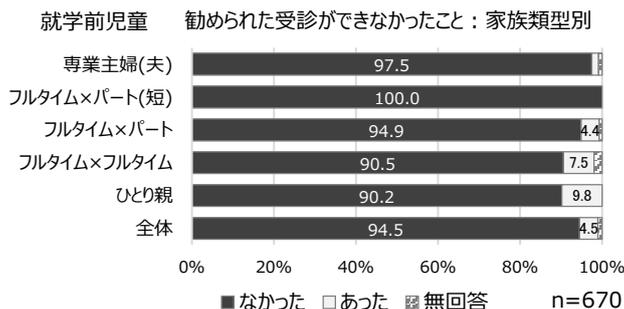
④ 医療の状況／勧められた受診ができなかったこと

就学前児童 問 10-2 過去 1 年間に、宛名のお子さん（きょうだいを含む。）を病院や歯医者で受診を勧められながら、実際には受診できなかったことがありますか。当てはまるもの 1 つに○をつけてください。
 小学生 問 7-2 過去 1 年間に、宛名のお子さん（きょうだいを含む。）を病院や歯医者で受診を勧められながら、実際には受診できなかったことがありますか。当てはまるもの 1 つに○をつけてください。

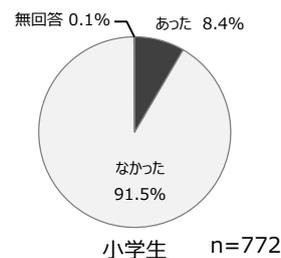
就学前児童では、受診できなかったことが「あった」は 4.5%、「なかった」が 94.5%となっています。小学生では、「あった」は 8.4%、「なかった」が 91.5%となっています。また、就学前児童を家族類型別にみると、「あった」は、ひとり親世帯では 9.8%、フルタイム×フルタイム世帯では 7.5%と全体よりも高くなっています。



資・図 14



資・図 15



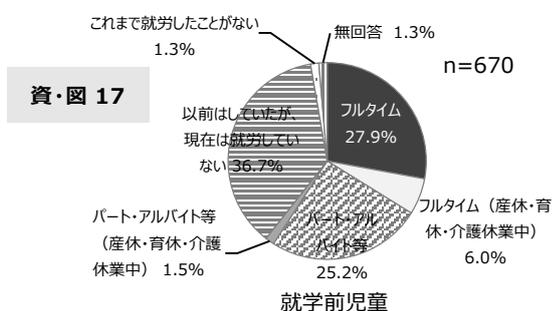
資・図 16

(3) 母親・父親の就労状況

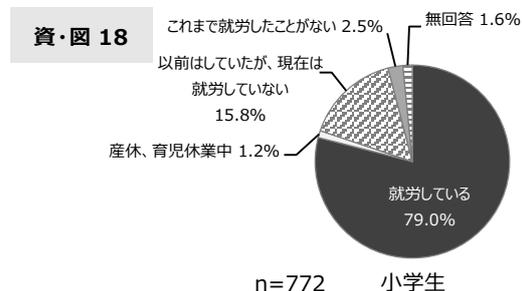
① 母親の就労状況

| | | |
|-------|--------|---|
| 就学前児童 | 問 11-1 | 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。当てはまるもの1つに○をつけてください。 |
| 小学生 | 問 9-1 | 現在の就労状況についてうかがいます。当てはまるもの1つに○をつけてください。自営業、在宅勤務、内職等も「就労している」に含めてお答えください。 |

就学前児童では、「以前はしていたが現在は就労していない」が36.7%と最も高く、次いで「フルタイム」(27.9%)、「パート・アルバイト等」(25.2%)、「フルタイム(産休・育休・介護休業中)」(6.0%)と続いています。小学生では、「就労している」(79.0%)が最も高く、「以前はしていたが、現在は就労していない」は15.8%、「これまで就労したことがない」は2.5%となっています。



資・図 17

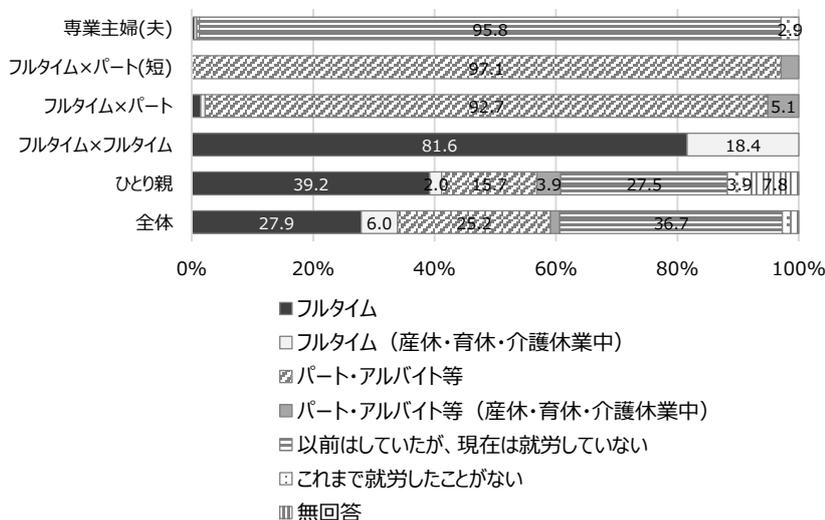


資・図 18

資・図 19

※ひとり親世帯の就業率
 A フルタイム：39.2%
 B 同上・休業中 2.0%
 C パート・アルバイト等 15.7%
 D 同上・休業中 3.9%
 A～D計 60.8%

母親の就労状況（就学前児童、家族類型別） n=661

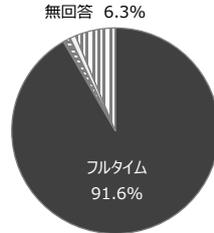


②父親の就労状況

| | | |
|-------|--------|---|
| 就学前児童 | 問 11-1 | 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。当てはまるもの1つに○をつけてください。 |
| 小学生 | 問 9-1 | 現在の就労状況についてうかがいます。当てはまるもの1つに○をつけてください。自営業、在宅勤務、内職等も「就労している」に含めてお答えください。 |

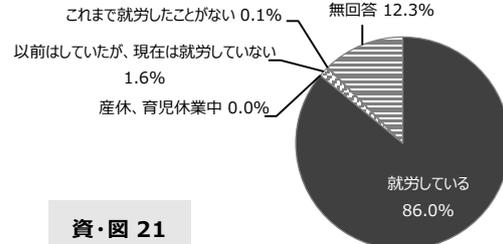
就学前児童の父親では、「フルタイム」が91.6%を占めています。小学生の父親では、「就労している」(86.0%) が最も高くなっています。

フルタイム（育休・介護休業中） 0.3%
 パート・アルバイト等 0.7%
 パート・アルバイト等（育休・介護休業中） 0.1%
 以前は働いていたが現在は仕事をしていない 0.9%
 これまで就労したことがない 0.0%



資・図 20

n=670 就学前児童



資・図 21

n=772 小学生

(4) 家族類型

①保護者の就労形態の組み合わせによる類型

未就学児童を持つ世帯について、保護者の就労形態の組み合わせによる類型（母親と父親の現在の就労状況から、家庭類型（就労形態の組み合わせ）を算出。アルバイトはパートタイムに含む。産休・育休・介護休業中は、フルタイム、パートタイムのそれぞれに含む。）

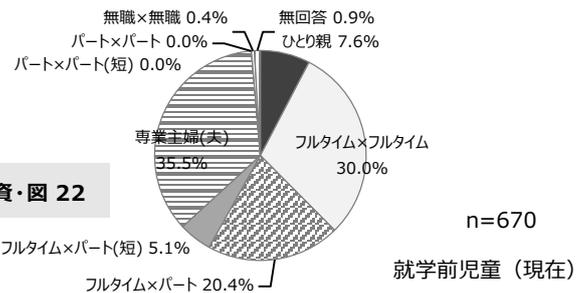
潜在的類型は、例えば、母親で、現在パートタイムの人がフルタイム就労する予定があるのか、無業の人がフルタイムに、またはパートタイムで就労する予定があるのかの意向によって、近い将来の“潜在”家庭類型を算出します。

(現在)

「専業主婦(夫)」が35.5%と最も高く、次いで「フルタイム×フルタイム」(30.3%)、「フルタイム×パートタイム」(20.4%)と続いています。「ひとり親」は7.6%となっています。

(潜在的)

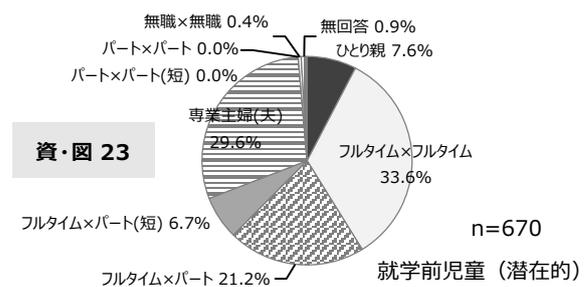
「フルタイム×フルタイム」が33.6%と最も高く、次いで「専業主婦(夫)」(29.6%)、「フルタイム×パートタイム」(21.2%)と続いています。



資・図 22

n=670

就学前児童（現在）



資・図 23

n=670

就学前児童（潜在的）

②世帯収入

| | | |
|-------|------|---|
| 就学前児童 | 問 12 | 宛名のお子さんの全世帯員（生計が同じである家族）の昨年1年間（平成30年1月1日～同年12月31日の期間）の収入の合計額は、おおよそどれくらいですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。 |
| 小学生 | 問 14 | 宛名のお子さんの全世帯員（生計が同じである家族）の昨年1年間（平成30年1月1日～同年12月31日の期間）の収入の合計額は、おおよそどれくらいですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。 |

グラフは本編16頁参照。

(5) 平日の幼稚園・保育園などの利用状況

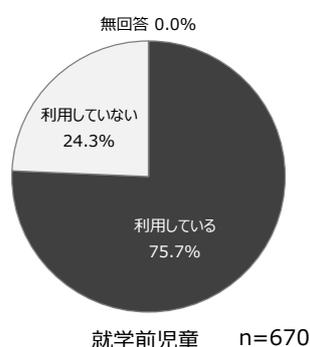
①平日・定期的に利用している事業

| | | |
|-------|--------|--|
| 就学前児童 | 問 13-1 | 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などを月単位で定期的にご利用されていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。 |
| | 問 13-2 | 問 13-2～問 13-4 は、問 13-1 で「1」に○をつけた方にかがいます。利用していない方は問 13-5 にお進みください。 宛名のお子さんは、平日どのような事業を利用していますか。年間を通じて「定期的」に利用している事業すべてに○をつけてください。 |

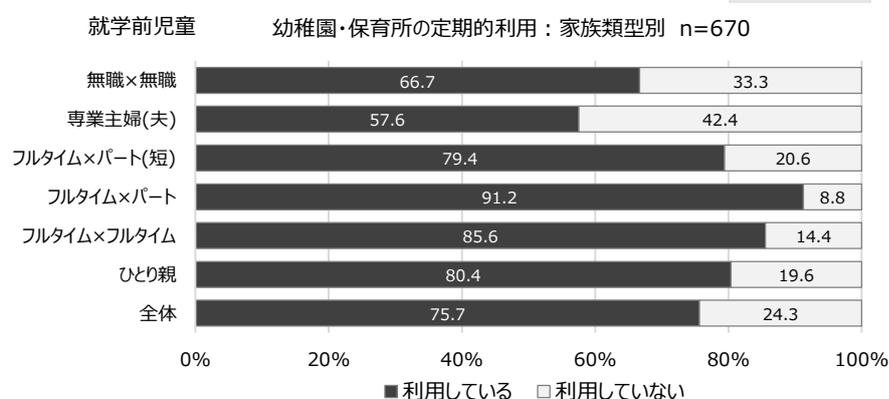
就学前児童のお子さんが幼稚園や保育所など何等かの事業を定期的にご利用している人(75.7%)について、家族類型別にみると、「フルタイム×パート」(91.2%)、「フルタイム×フルタイム」(85.6%)、「ひとり親」(80.4%)となっています。

「認可保育園」は44.6%、「幼稚園(通常の就園時間)」は38.7%、「幼稚園(預かり保育)」は12.0%となっています。次いで、「認定こども園」(6.5%)、「小規模な保育施設」(3.6%)、「事業所内保育施設」(2.4%)などが続いています(調査結果報告書22頁参照)。

資・図 24



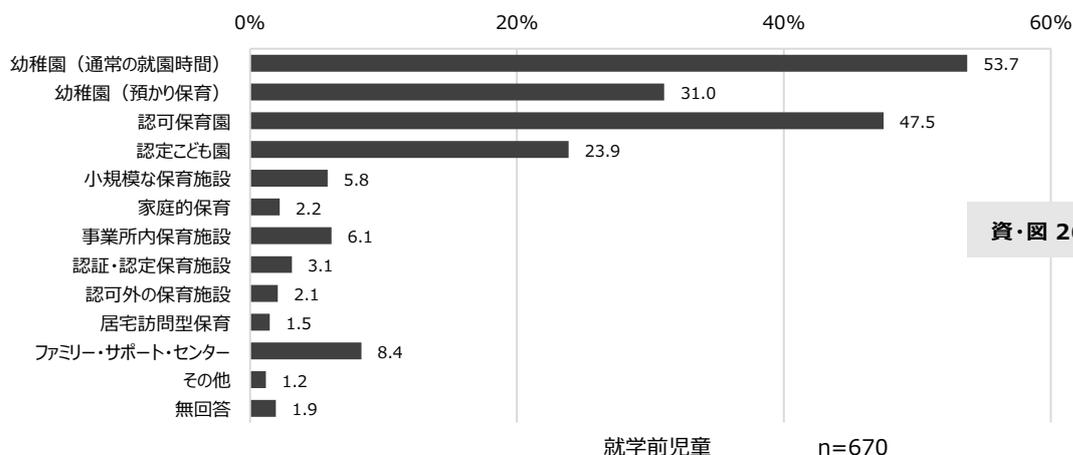
資・図 25



(6) 今後、定期的にご利用したい事業

| | | |
|-------|--------|--|
| 就学前児童 | 問 14-1 | 現在、利用している、利用していないに関わらず、宛名のお子さんの平日の幼稚園・保育園などの事業として、今後「定期的」にご利用したいと考える事業すべてに○をつけてください。 |
|-------|--------|--|

「幼稚園(通常の就園時間)」が53.7%と最も高く、次いで「認可保育園」(47.5%)、「幼稚園(預かり保育)」(31.0%)、「認定こども園」(23.9%)が続いています。以降回答の多い順に、「ファミリー・サポート・センター」(8.4%)、「事業所内保育施設」(6.1%)、「小規模な保育施設」(5.8%)、「認証・認定保育施設」(3.1%)などという結果です。



資・図 26

(7) 子育て支援事業

①各種事業の認知状況

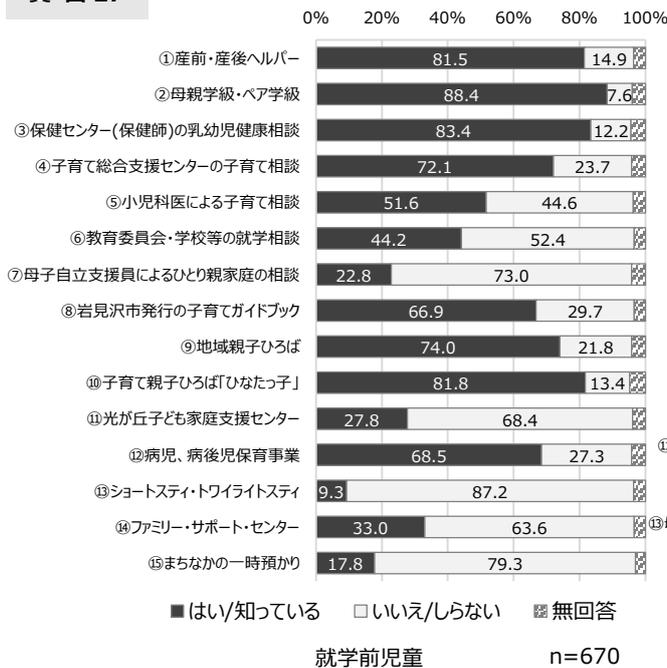
| | | |
|-------|------|---|
| 就学前児童 | 問 17 | 下記の①～⑮の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。それぞれの項目について「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。 |
| 小学生 | 問 32 | 下記の①～⑭の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。それぞれの項目について「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。 |

・事業の認知状況

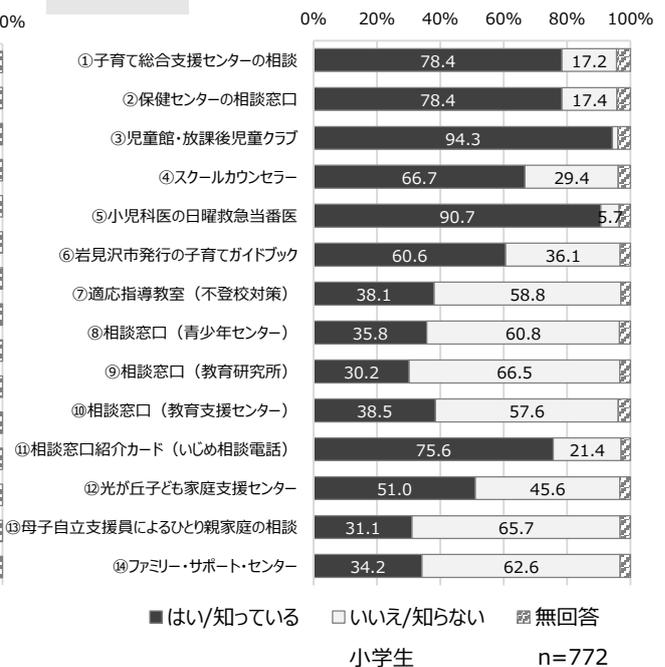
就学前児童について、各種の子育て支援事業について知っているという認知状況について、回答の高い順にみると、「②母親学級・ペア学級」(88.4%)、「③保健センター(保健師)の乳幼児健康相談」(83.4%)、「⑩子育て親子ひろば「ひなたっ子」」(81.8%)、「①産前・産後ヘルパー」(81.5%)、「⑨地域親子ひろば」(74%)、「④子育て総合支援センターの子育て相談」(72.1%)、「⑫病児、病後児保育事業」(68.5%)、「⑧岩見沢市発行の子育てガイドブック」(66.9%)、「⑤小児科医による子育て相談」(51.6%) などとなっています。自立支援員によるひとり親家庭の相談については、「知らない」は、全体で高く(73.0%)、ひとり親世帯でも半数以上を占めている(52.9%)。

小学生では、「③児童館・放課後児童クラブ」が94.3%と最も高く、次いで「⑤小児科医の日曜救急当番医」(90.7%)、「①子育て総合支援センターの相談」(78.4%)、「②保健センターの相談窓口」(78.4%)、「⑪相談窓口紹介カード(いじめ相談電話)」(75.6%)、「④スクールカウンセラー」(66.7%)、「⑥岩見沢市発行の子育てガイドブック」(60.6%)、「⑫光が丘子ども家庭支援センター」(51.0%) などとなっています。

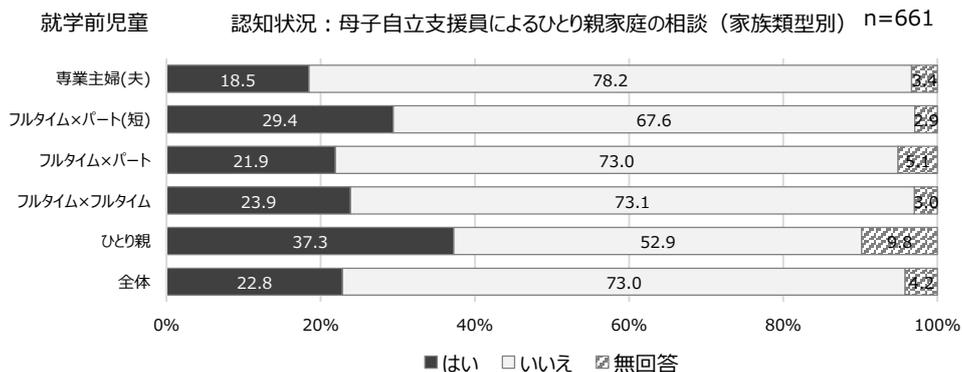
資・図 27



資・図 28



資・図 29



(8) お子さんの病気の際の対応

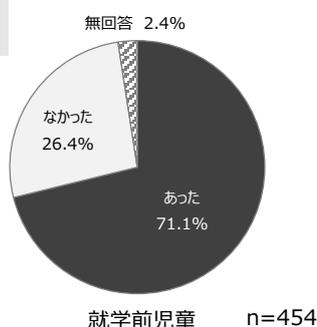
①利用できなかった場合の対処法

| | | |
|-------|--------|---|
| 就学前児童 | 問 20-1 | 定期的に幼稚園・保育園を利用していると答えた保護者の方にうかがいます。利用していない方は、問 21-1 にお進みください。 この1年間に、お子さんが病気やケガで通常の利用ができなかったことはありますか。 |
| | 問 20-2 | 問 20-1 で「1」に○をつけた方にうかがいます。 宛名のお子さんが病気やケガで通常の利用ができなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまるものすべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（半日程度の場合も1日とカウントしてください。） |

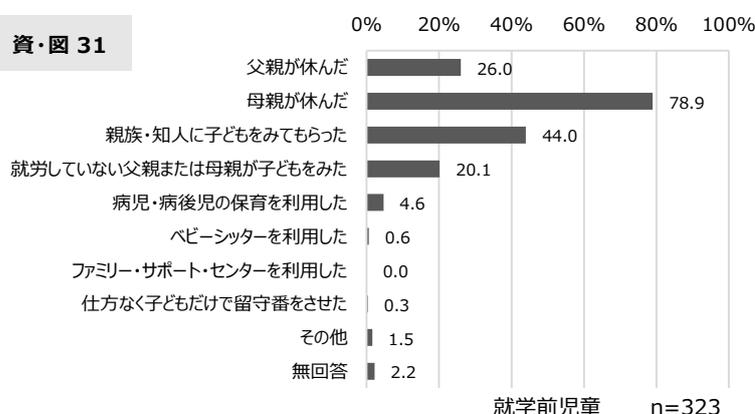
利用できないことが「あった」が71.1%、「なかった」が26.4%となっています。

また、最も回答の多い対処法は、「母親が休んだ」(78.9%)で、次いで「親族・知人に子どもをみてもらった」(44.0%)、「父親が休んだ」(26.0%)、「就労していない父親または母親が子どもをみた」(20.1%)が続いています。対処法ごとの平均日数は、「母親が仕事を休んだ」が9.4日/年、「親族・知人に子どもをみてもらった」が6.3日/年、「父親が休んだ」が4.1日/年、「就労していない父親または母親が子どもをみた」が9.5日/年などとなっています。

資・図 30



資・図 31



資・図 32

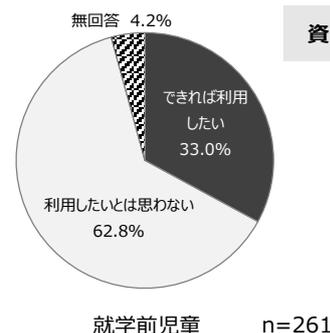
対処法ごとの平均日数

| 対処法 | 平均日数 | 病児・病後児の保育を利用した | 2.8日/年 |
|-----------------------|--------|----------------------|--------|
| 父親が休んだ | 4.1日/年 | ベビーシッターを利用した | 2.0日/年 |
| 母親が休んだ | 9.4日/年 | ファミリー・サポート・センターを利用した | — |
| 親族・知人に子どもをみてもらった | 6.3日/年 | 仕方なく子どもだけで留守番をさせた | 1.0日/年 |
| 就労していない父親または母親が子どもをみた | 9.5日/年 | その他 | 7.6日/年 |

②病児・病後児の利用意向

| | | |
|-------|--------|---|
| 就学前児童 | 問 20-3 | 問 20-2 で「ア」または「イ」に○をつけた方にうかがいます。 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。 |
|-------|--------|---|

「利用したいとは思わない」が62.8%、「できれば(病児・病後児保育施設等)を利用したい」が33.0%となっています。利用したい平均日数は、6.5日/年となっています。



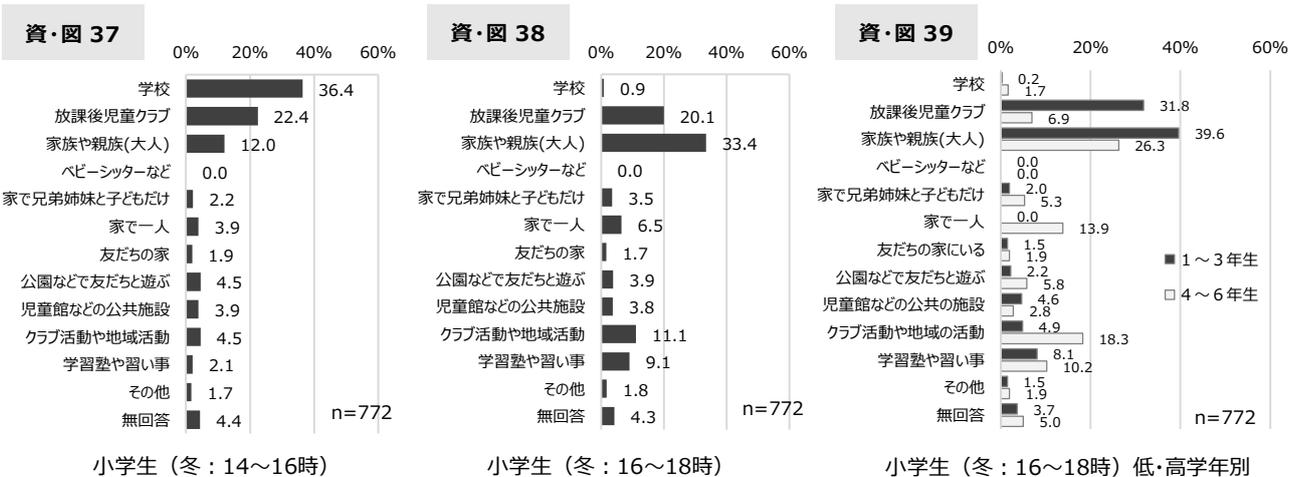
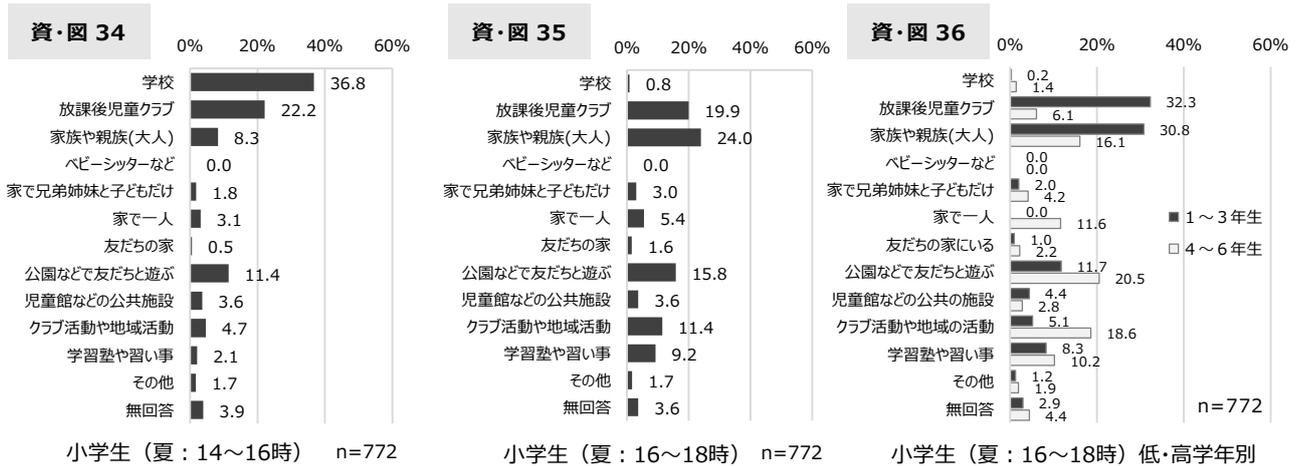
(9) 小学生の過ごし方

①平日の放課後の過ごし方

小学生 問 15 平日の放課後の通常的なお子さんの過ごし方で一番多いものについて、時間帯ごとに当てはまるものを点線の枠内の選択肢からそれぞれ1つずつ選んで下の表に番号を入れてください。

平日の放課後は、16時を過ぎると主な居場所が「学校」や「放課後児童クラブ」から「家族や親族(大人)」と過ごす割合が高くなります。

夏と冬で過ごし方に違いがみられる点として16~18時で、夏には15.8% (高学年では20.5%) となっている「公園などで友だちと遊ぶ」が冬は3.9%にとどまることがあげられます。



②この1年間で家庭でした体験/世帯年収別

小学生 問 16 過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。
①~⑤の各項目について、それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

i 家族旅行に行くことの状況 (世帯年収別)

ある (76.3%)、金銭的理由でない (9.5%)、時間的理由でない (8.9%)

| | 200万円未満 | 200~400万円未満 | 400~600万円未満 | 600~800万円未満 | 800万円以上 |
|-------------|---------|-------------|-------------|-------------|---------|
| <回答者数> | 42 | 152 | 246 | 198 | 115 |
| ある | 54.8 | 61.8 | 78.0 | 84.8 | 87.0 |
| ない (金銭的な理由) | 31.0 | 16.4 | 11.0 | 2.0 | 1.7 |
| ない (時間の制約) | 7.1 | 12.5 | 6.9 | 9.1 | 7.8 |
| ない (その他の理由) | 4.8 | 8.6 | 4.1 | 3.5 | 3.5 |
| 無回答 | 2.4 | 0.7 | 0.0 | 0.5 | 0.0 |

資・図 40

ii ~ iv 遊園地や映画館に行くことの状況、お誕生日のお祝い、クリスマスプレゼントや正月のお年玉の状況は、省略

v 習い事に通わせることの状況（世帯年収別）

ある（77.5%）、金銭的理由でない（5.4%）、時間的理由でない（4.5%）

| | 200万円未満 | 200～400万円未満 | 400～600万円未満 | 600～800万円未満 | 800万円以上 |
|------------|---------|-------------|-------------|-------------|---------|
| <回答者数> | 42 | 152 | 246 | 198 | 115 |
| ある | 40.5 | 65.1 | 78.9 | 86.4 | 89.6 |
| ない（金銭的理由） | 26.2 | 9.9 | 4.9 | 1.5 | 0.0 |
| ない（時間の制約） | 9.5 | 7.2 | 2.8 | 3.5 | 4.3 |
| ない（その他の理由） | 23.8 | 17.1 | 13.0 | 8.1 | 6.1 |
| 無回答 | 0.0 | 0.7 | 0.4 | 0.5 | 0.0 |

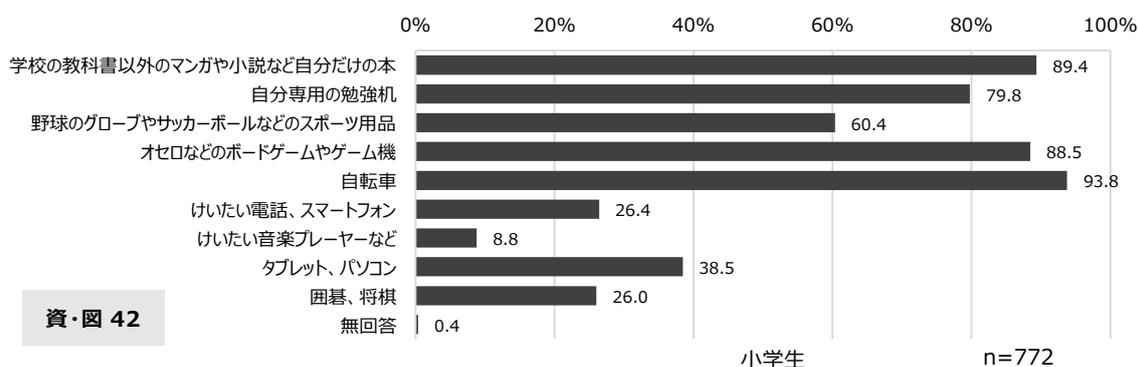
資・図 41

③子どもが使えるもの

小学生 問 17 宛名のお子さんは、自分が使うことができる、以下のものがありますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

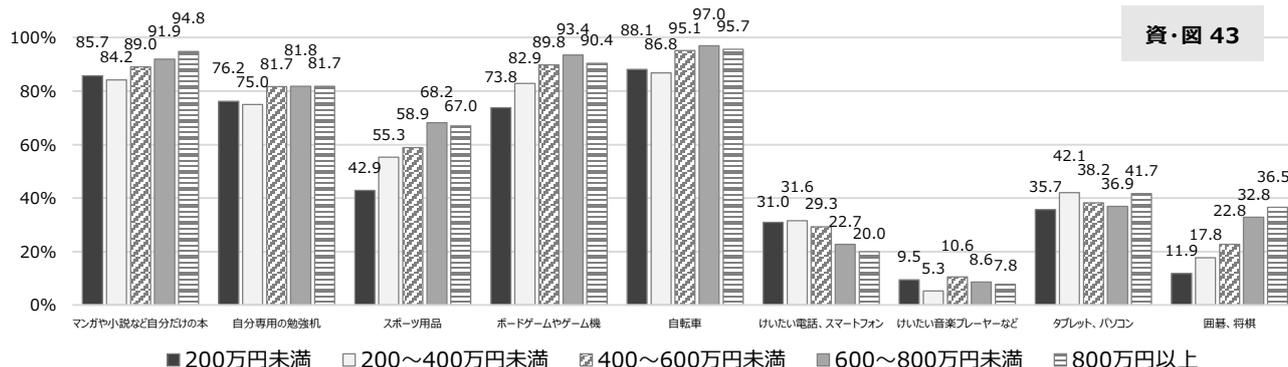
自分が使うことができるという回答の多い順に「自転車」（93.8%）、「学校の教科書以外のマンガや小説など自分だけの本」（89.4%）、「オセロなどのボードゲームやゲーム機」（88.5%）、「自分専用の勉強机」（79.8%）、「野球のグローブやサッカーボールなどのスポーツ用品」（60.4%）は過半数が持っており、以降「タブレット、パソコン」（38.5%）、「けいたい電話、スマートフォン」（26.4%）、「囲碁、将棋」（26.0%）などとなっています。

世帯年収別でみると、年収にともない所持率が上がるのは、「スポーツ用品」「ボードゲームやゲーム機」「囲碁、将棋」であり、反対に減少するのは「けいたい電話、スマートフォン」となっています。



資・図 42

子どもが使えるものの所持率（世帯年収別） n=750



資・図 43

(10) 小学生の放課後児童クラブの利用状況

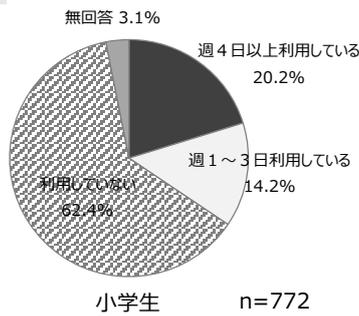
①利用頻度と時間（平日）

小学生 問 18 宛名のお子さんは放課後児童クラブを利用していますか。平日・土曜日のそれぞれについて利用状況をお答えください。

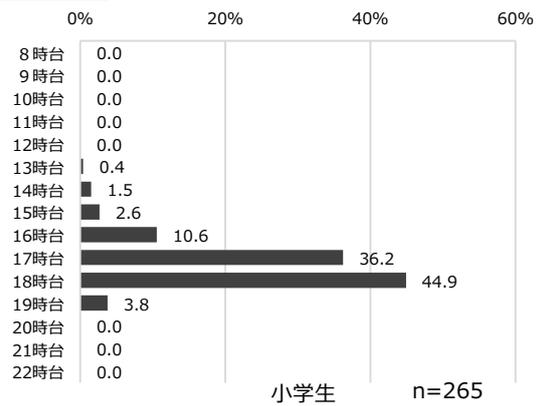
平日は「利用していない」（62.4%）のほかは、「週4日以上利用している」が20.2%、「週1～3日利用している」が14.2%となっています。

利用は学校の終了から「18時台」までが最も高く44.9%、続いて「17時台」（36.2%）、「16時台」（10.6%）などとなっています。

資・図 44



資・図 45



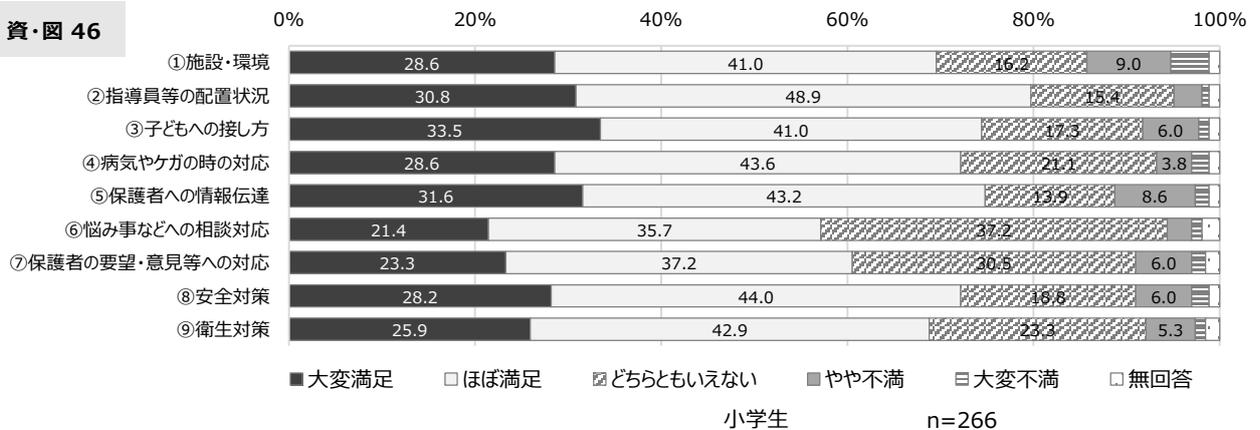
②放課後児童クラブに対して感じること (①~⑨)

小学生 問 19 現在、放課後児童クラブを利用している方にかがいます。
 現在通っている放課後児童クラブに対してどのように感じていますか。①~⑨の各項目について、それぞれ当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

大変満足が3割を超えて高い項目は「③子どもへの接し方」(33.5%)、「⑤保護者への情報伝達」(31.6%)、「②指導員等の配置状況」(30.8%)で、大変満足とほぼ満足を合わせた“満足”をみると、高い順に「②指導員等の配置状況」、「⑤保護者への情報伝達」、「③子どもへの接し方」、「④病気やケガの時の対応」、「⑧安全対策」などとなっています。

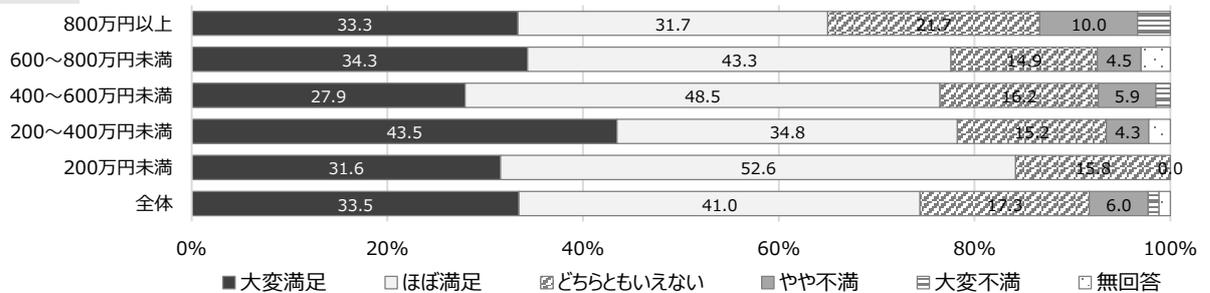
利用児童を世帯年収別にみると、800万円以上の世帯では「子どもへの接し方」「保護者への情報伝達」「保護者の要望・意見等への対応」などで“やや不満”とする割合が、全体平均よりも高くなっています。

資・図 46



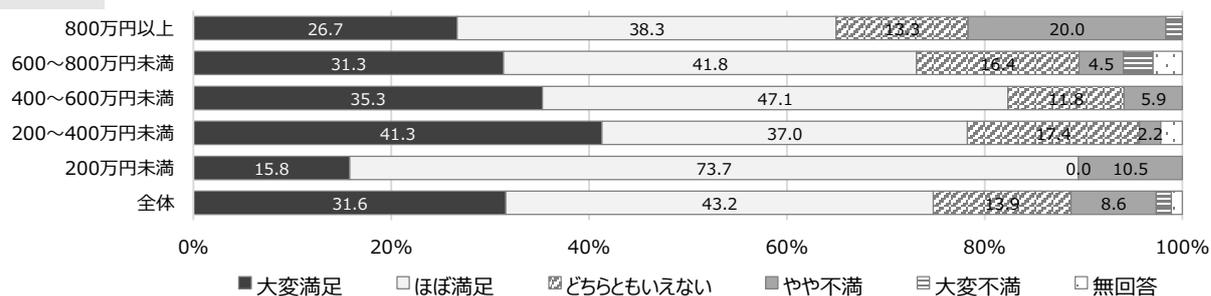
資・図 47

放課後児童クラブの感想：子どもへの接し方 n=266



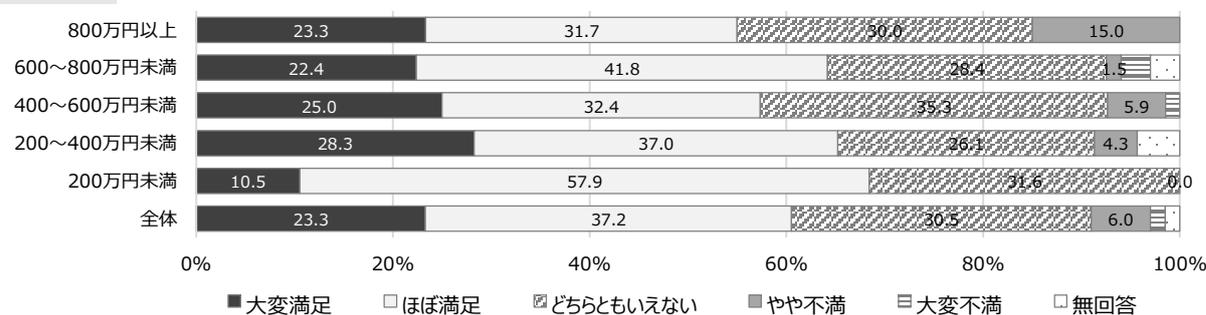
資・図 48

放課後児童クラブの感想：保護者への情報伝達 n=266



資・図 49

放課後児童クラブの感想：保護者の要望・意見等への対応 n=266



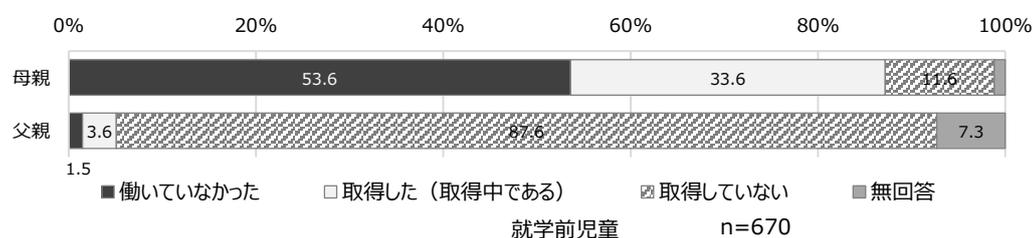
(11) 育児休業や短時間勤務制度など

① 育児休業の取得状況 就学前児童（母親、父親）

就学前児童 問 28-1 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて当てはまるもの1つに○をつけてください。また「3」（取得していない）に○をつけた方はその理由をご記入ください。

母親は「働いていなかった」が53.6%、「取得した（取得中である）」が33.6%、「取得していない」が11.6%となっています。父親は「取得していない」（87.6%）が多数を占め、「取得した（取得中である）」は3.6%となっています。

資・図 50



(12) 子育ての状況や環境

①小学生の地域活動やグループ活動

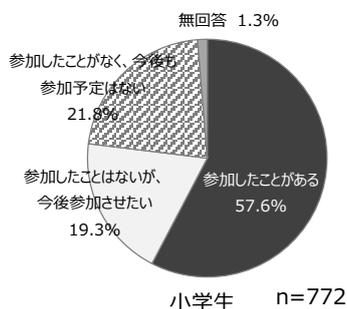
| | | |
|-----|--------|--|
| 小学生 | 問 23-1 | 宛名のお子さんは地域活動やグループ活動などに参加されたことはありますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。 |
| | 問 23-2 | 問 23-1 で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。 お子さんが参加したことがある、もしくは参加させたい地域活動やグループ活動の種類は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。 |

「参加したことがある」(57.6%) が最も高く、「参加したことがなく、今後も参加予定はない」(21.8%)、「参加したことはないが、今後参加させたい」(19.3%) が続いています。

参加したことがある、または参加したい活動として「スポーツ活動」(67.5%)が最も多く回答を集め、以降「文化・音楽活動」(29.5%)、「キャンプ等の野外活動」(25.3%)、「子ども会等青少年育成活動」(24.7%)、「リサイクル活動や環境分野での社会活動」(18.0%)、「清掃や高齢者訪問等の地域のボランティア」(16.7%)、「ホームステイ等の国際交流活動」(10.4%)となっています。

また、世帯年収別にみると、「参加したことがなく、今後も参加予定はない」とする割合が上昇しています(グラフは本編 67 頁参照)。

資・図 51



(13) 小学生と家族との関わり

| | | |
|-----|------|---|
| 小学生 | 問 29 | 家族がそろって食事をするのは週にどのくらいですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。 |
| | 問 30 | お子さんとの会話は一日にどのくらいありますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。 |

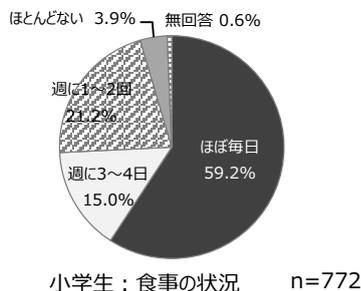
①食事の状況

「ほぼ毎日」という家庭が59.2%を占め、「週に1~2回」(21.2%)、「週に3~4日」(15.0%)、「ほとんどない」(3.9%) が続いています。

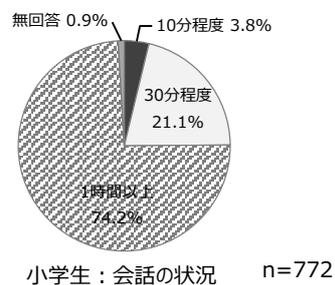
②会話の状況

「1時間以上」という家庭が74.2%を占め、「30分程度」(21.1%)、「10分程度」(3.8%) が続いています。会話が「ほとんどない」という回答はありませんでした。

資・図 52



資・図 53

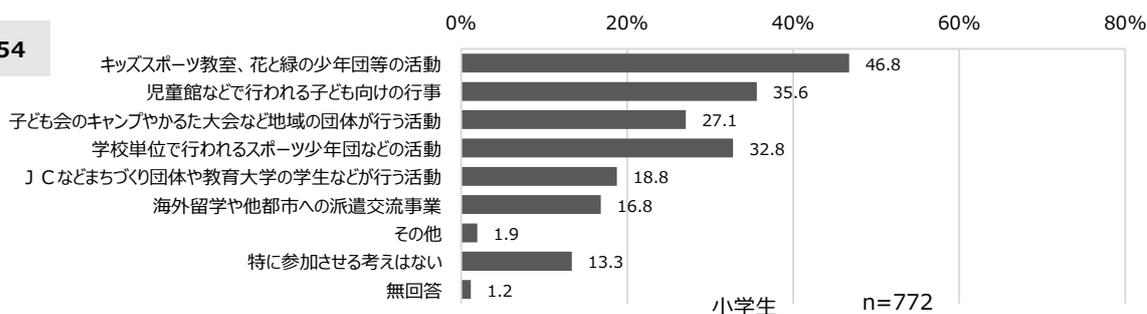


(14) 子どもの体験活動

| | | |
|-----|--------|--|
| 小学生 | 問 31-2 | 子どもの体験活動について、どのような機会があれば参加させたいと思いますか。次の中から、当てはまるもの3つまで○をつけてください。 |
|-----|--------|--|

参加させたいという回答は、「キッズスポーツ教室、花と緑の少年団のように行政が行う活動」(46.8%)、「児童館などで行われる子ども向けの行事」(35.6%)、「学校単位で行われるスポーツ少年団などの活動」(32.8%)、「子ども会のキャンプやかるた大会など地域の団体が行う活動」(27.1%) などとなっています。世帯年収別では、年収400万円未満で「特に参加させる考えはない」の割合が比較的高くなっています。

資・図 54



資・図 55

| <回答者数> | 金額 | | | | |
|------------------------------|---------|-------------|-------------|-------------|---------|
| | 200万円未満 | 200～400万円未満 | 400～600万円未満 | 600～800万円未満 | 800万円以上 |
| <回答者数> | 42 | 152 | 246 | 198 | 115 |
| キッズスポーツ教室、花と緑の少年団のように行政が行う活動 | 38.1 | 38.2 | 49.6 | 45.5 | 56.5 |
| 児童館などで行われる子ども向けの行事 | 35.7 | 38.8 | 31.3 | 34.8 | 43.5 |
| 子ども会のキャンプやかるた大会など地域の団体が行う活動 | 28.6 | 24.3 | 31.3 | 27.8 | 19.1 |
| 学校単位で行われるスポーツ少年団などの活動 | 31.0 | 24.3 | 33.3 | 30.3 | 44.3 |
| J C などまちづくり団体や教育大学の学生などが行う活動 | 9.5 | 14.5 | 19.5 | 21.2 | 21.7 |
| 海外留学や他都市への派遣交流事業 | 16.7 | 10.5 | 16.3 | 20.2 | 20.9 |
| その他 | 2.4 | 1.3 | 2.8 | 1.5 | 1.7 |
| 特に参加させる考えはない | 21.4 | 17.1 | 12.6 | 13.1 | 7.8 |
| 無回答 | 2.4 | 2.6 | 1.6 | 0.0 | 0.0 |

(15) 子育てに関する悩みや不安、相談相手、情報収集など

① 子育ての不安や負担を感じること

| | | |
|-------|------|---|
| 就学前児童 | 問 29 | 子育てに関して不安や負担を感じることがありますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。 |
| 小学生 | 問 24 | 子育てに関して不安や負担を感じることがありますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。 |

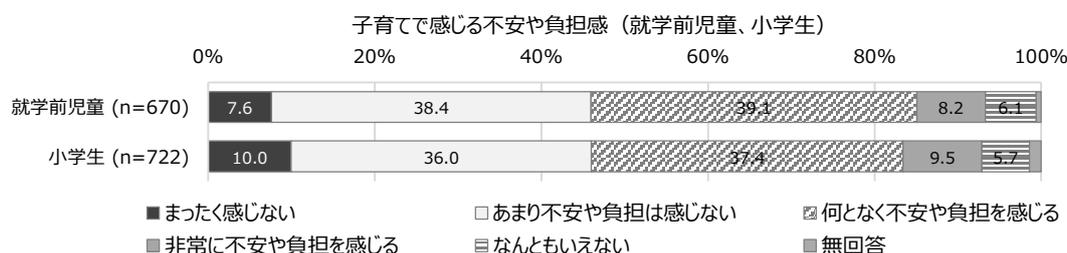
就学前児童では「まったく感じない」(7.6%)と「あまり不安や負担は感じない」(38.4%)を合わせた“不安や負担を感じない” (46.0%)が、「何となく不安や負担を感じる」(39.1%)と「非常に不安や負担を感じる」(8.2%)を合わせた“不安や負担を感じる” (47.3%)と二分しています。

家族類型別でみると、「何となく不安や負担を感じる」とする割合が、ひとり親 (45.1%)、専業主婦 (42.9%) と比較的高い。

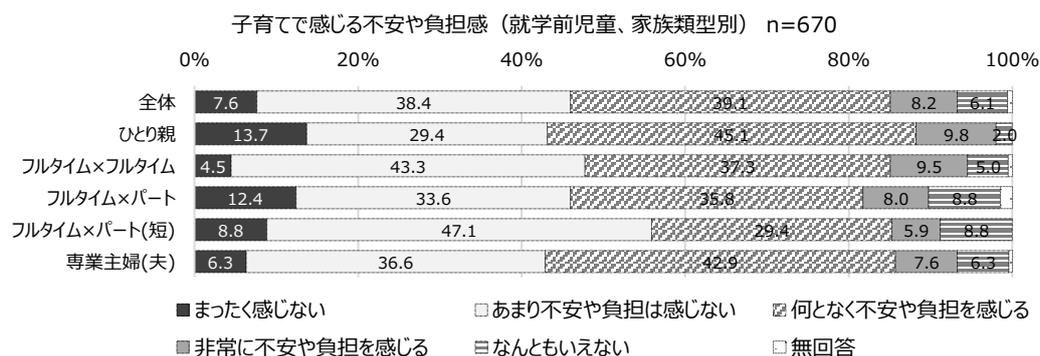
小学生でも同様の傾向で、「まったく感じない」(10.0%)と「あまり不安や負担は感じない」(36.0%)を合わせた“不安や負担を感じない”が46.0%、「何となく不安や負担を感じる」(37.4%)と「非常に不安や負担を感じる」(9.5%)を合わせた“不安や負担を感じる”が46.9%となっています。

なお、就学前児童ならびに小学生の世帯年収別の状況は、本編 65 頁を参照。

資・図 56



資・図 57



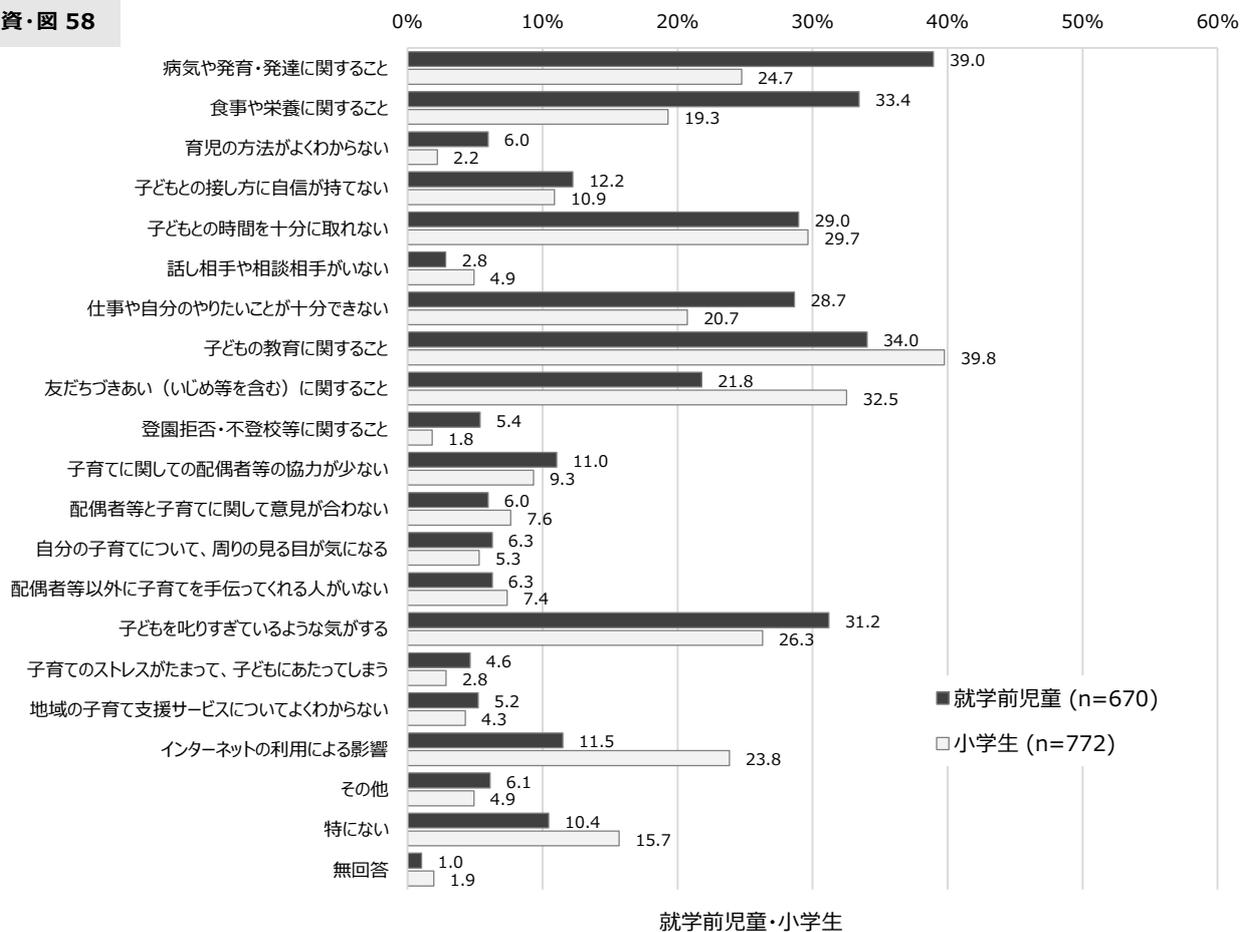
②日頃、悩んでいること、気になること

| | | |
|-------|------|--|
| 就学前児童 | 問 30 | 現在やこれからの子育てに関して、日頃悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。当てはまるもの5つまで○をつけてください。 |
| 小学生 | 問 25 | 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。 |

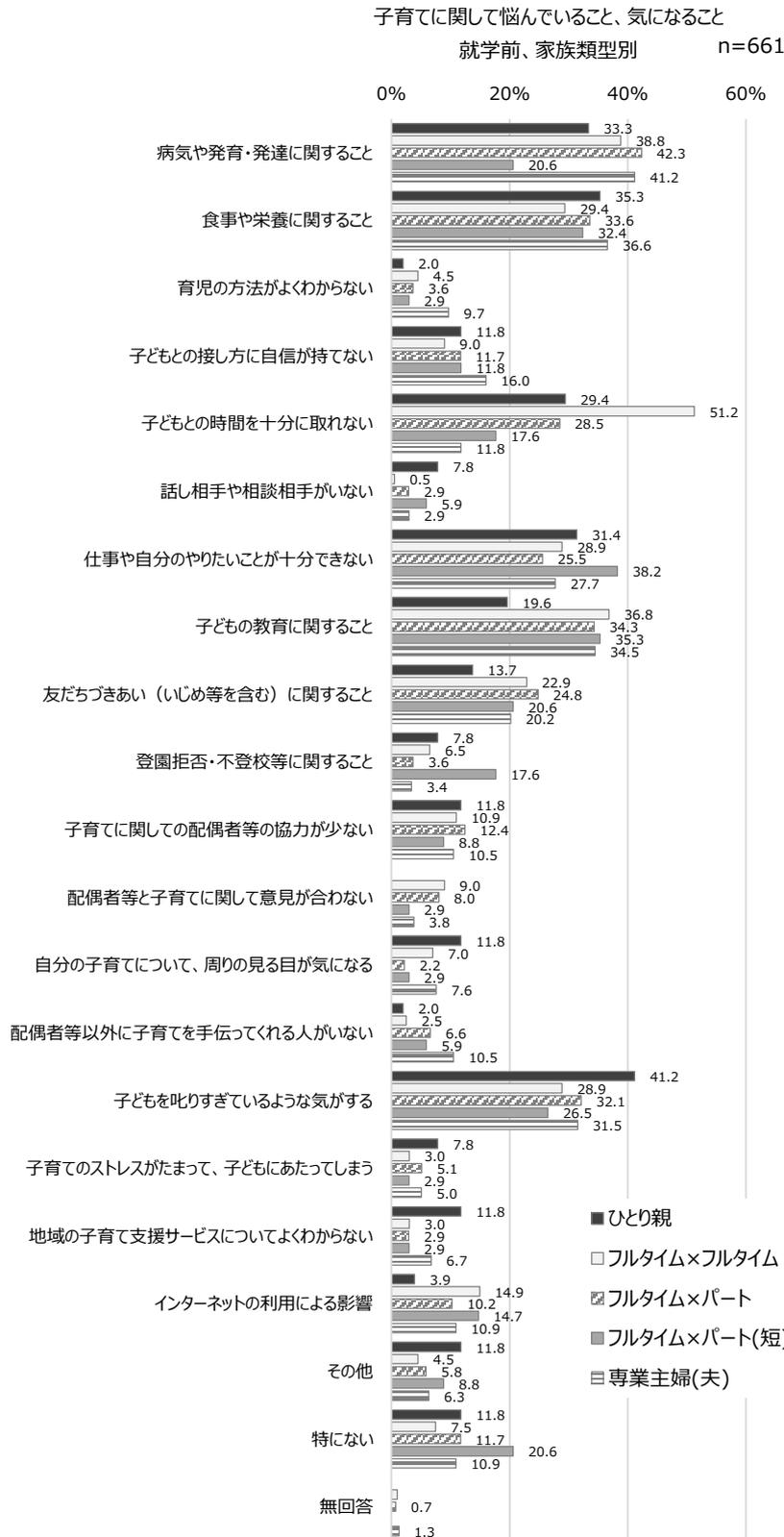
就学前児童では、「病気や発育・発達に関すること」(39.0%)、「子どもの教育に関すること」(34.0%)、「食事や栄養に関すること」(33.4%)、「子どもを叱りすぎているような気がする」(31.2%)、「子どもとの時間を十分に取れない」(29.0%)、「仕事や自分のやりたいことが十分できない」(28.7%) などとなっています。家族類型別では共働き世帯などで、子どもとの時間がとれない意見が際立ちます。

小学生では、「子どもの教育に関すること」(39.8%)、「友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること」(32.5%)、「子どもとの時間を十分に取れない」(29.7%)、「子どもを叱りすぎているような気がする」(26.3%)、「病気や発育・発達に関すること」(24.7%)、「インターネットの利用による影響」(23.8%) などとなっています。子どもとの時間がとれない点は、世帯年収が800万円以上でも悩みになっています。

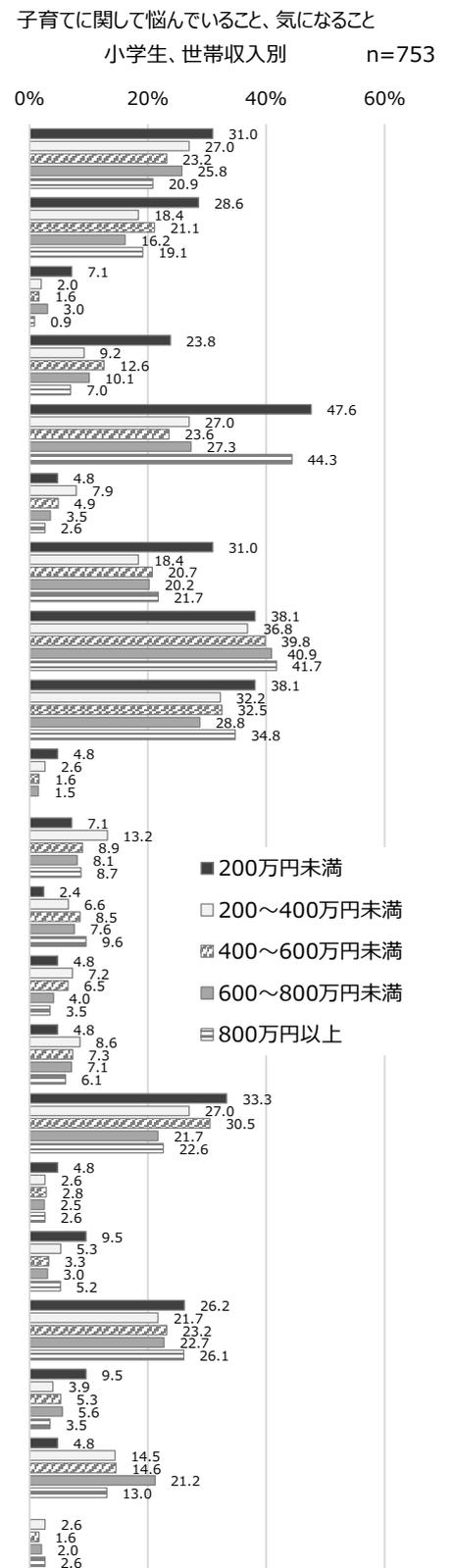
資・図 58



資・図 59



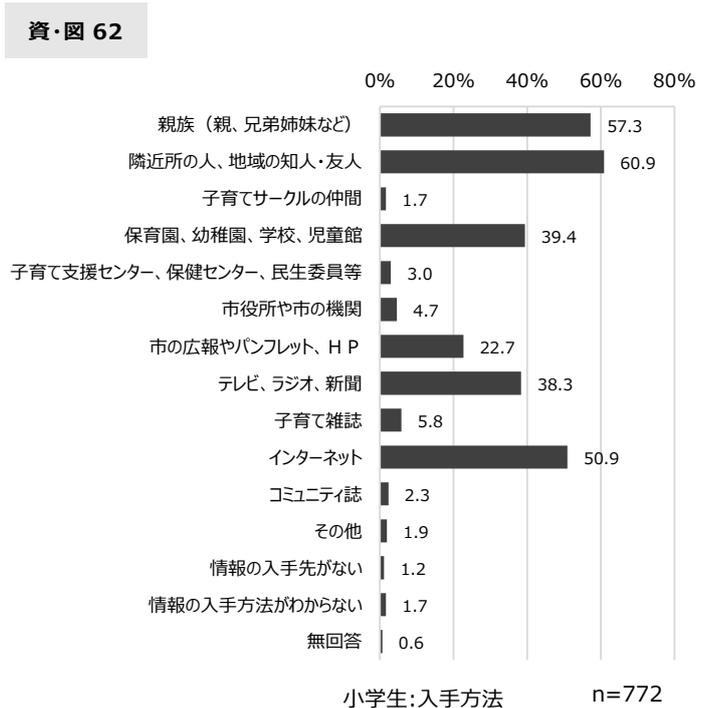
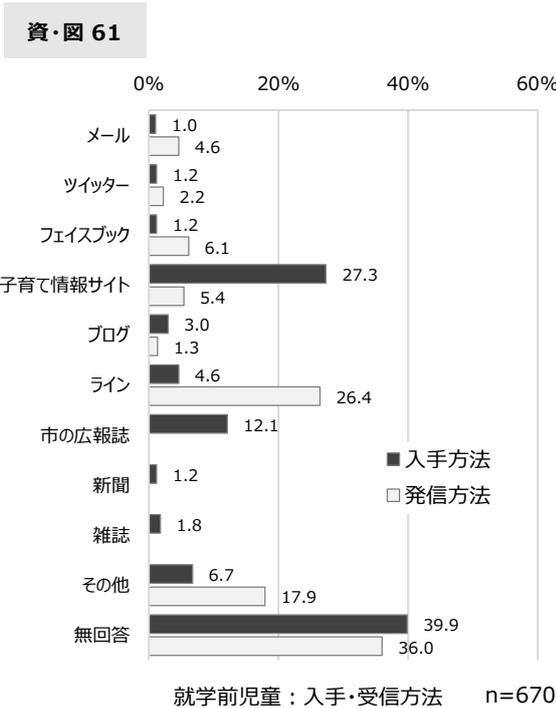
資・図 60



(16) 子育てに関する情報の受発信

| | | |
|-------|------|---|
| 就学前児童 | 問 32 | 子育てに関する情報の入手・発信の際に、主にどのような手段を使っていますか。それぞれ当てはまるもの1つに○をつけてください。 |
| 小学生 | 問 27 | 子育てに関する情報をどのように入手されていますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。 |

就学前児童では、子育てに関する情報の入手は回答の多い順に「子育て情報サイト」(27.3%)、「市の広報誌」(12.1%)となっており、発信については「ライン」(26.4%)、「フェイスブック」(6.1%)、「子育て情報サイト」(5.4%)となっています。
 小学生では情報の入手先として、「隣近所の人、地域の知人・友人」(60.9%)、「親族(親、兄弟姉妹など)」(57.3%)、「インターネット」(50.9%)が回答を集め、以降「保育園、幼稚園、学校、児童館」(39.4%)、「テレビ、ラジオ、新聞」(38.3%)などが続いています。

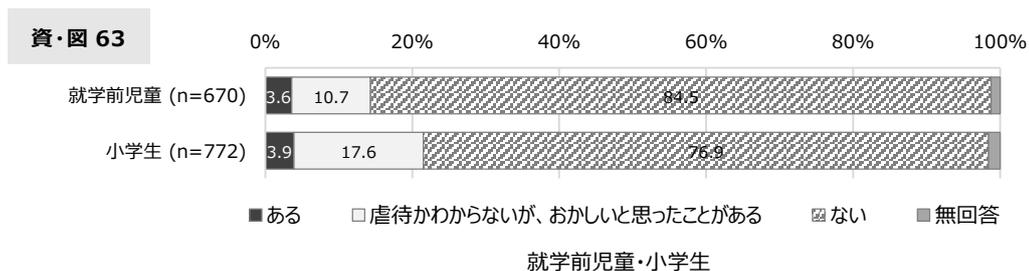


(17) 児童虐待について

① 見たり聞いたりしたこと

| | | |
|-------|--------|--|
| 就学前児童 | 問 33-1 | 最近、マスメディア等で、児童の虐待について取り上げられていますが、あなたの身近なところで、子どもの虐待を見たり聞いたりしたことがありますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。 |
| 小学生 | 問 34-1 | 最近、マスメディア等で、児童の虐待について取り上げられていますが、あなたの身近なところで、子どもの虐待を見たり聞いたりしたことがありますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。 |

就学前児童では「ない」が84.5%を占めており、「虐待かわからないが、おかしいと思ったことがある」は10.7%、「ある」は3.6%となっています。
 小学生では「ない」は76.9%、「虐待かわからないが、おかしいと思ったことがある」が17.6%、「ある」が3.9%となっています。

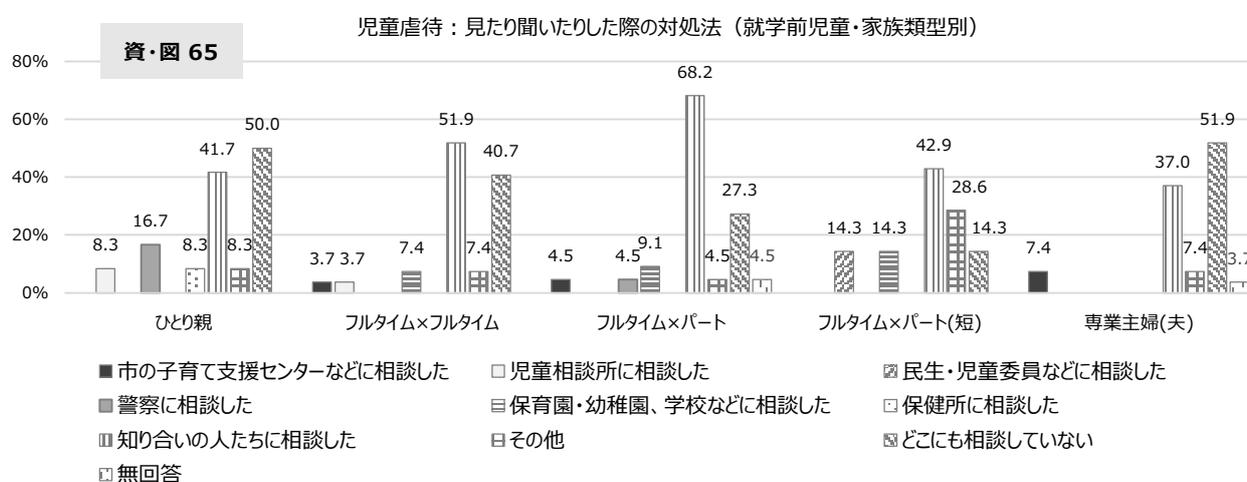
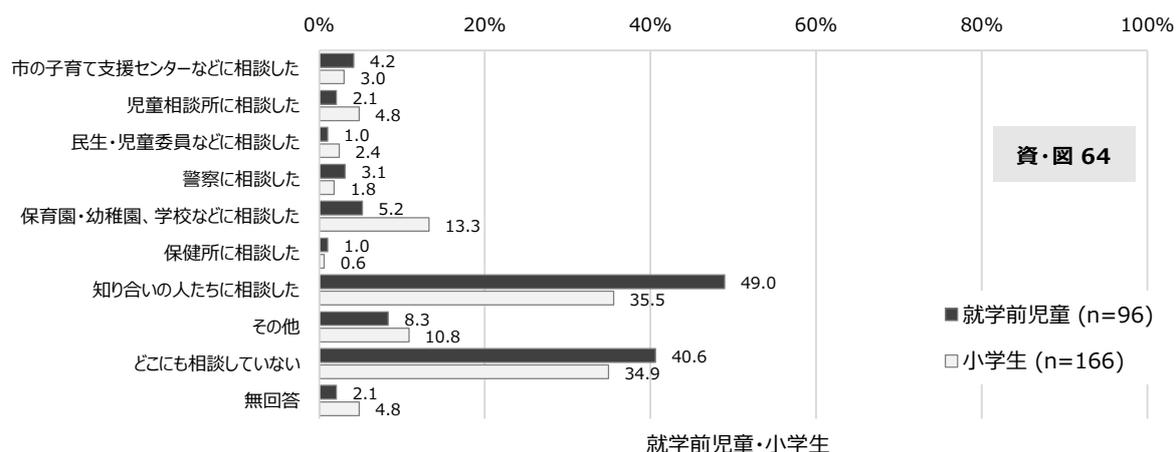


②見たり聞いたりした際の対処法

| | | |
|-------|--------|--|
| 就学前児童 | 問 33-2 | 問 33-1 で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。 その時、どのようにしましたか。当てはまるものすべてに○をつけてください。 |
| 小学生 | 問 34-2 | 問 34-1 で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。 その時、どのようにしましたか。当てはまるものすべてに○をつけてください |

対処法として、就学前児童では回答の多い順に「知り合いの人たちに相談した」(49.0%)、「保育園・幼稚園、学校などに相談した」(5.2%)、「市の子育て支援センターなどに相談した」(4.2%) などとなっており、「どこにも相談していない」は40.6%となっています。また、家族類型別にみると、ひとり親世帯ならびに専業主婦で、「どこにも相談していない」が最も多くなっています。

小学生では、「知り合いの人たちに相談した」(35.5%)、「保育園・幼稚園、学校などに相談した」(13.3%)、「児童相談所に相談した」(4.8%) などとなっており、「どこにも相談していない」は34.9%となっています。



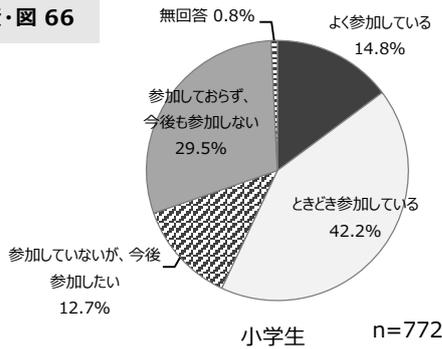
(18) 子育てサークルなどの自主的な活動

| | | |
|-----|--------|--|
| 小学生 | 問 28-1 | あなたは現在、子育てサークルや P T A などの自主的な活動に参加していますか。当てはまるもの 1 つに○をつけてください |
| | 問 28-2 | 問 28-1 で「1」～「3」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。 自主活動をしていくに当たって、行政に行ってほしい支援はどのようなものですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。 |

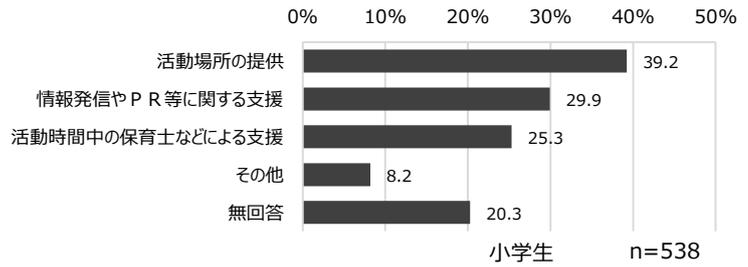
自主活動の参加の程度は「ときどき参加している」(42.2%) が最も高く、「参加しておらず、今後も参加しない」(29.5%)、「よく参加している」(14.8%)、「参加していないが、今後参加したい」(12.7%) と続いています。これを世帯年収別でみると、年収 400 万円未満の世帯では、「参加しておらず、今後も参加しない」が最も高い割合になっています。

自主活動のために行政にしてほしい支援については、回答の多い順に「活動場所の提供」(39.2%)、「情報発信や P R 等に関する支援（掲示板の開放など）」(29.9%)、「活動時間中の保育士などによる支援」(25.3%) となっています。

資・図 66



資・図 67



資・図 68

| | 200万円未満 | 200～400万円未満 | 400～600万円未満 | 600～800万円未満 | 800万円以上 |
|------------------|---------|-------------|-------------|-------------|---------|
| <回答者数> | 42 | 152 | 246 | 198 | 115 |
| よく参加している | 11.9 | 11.8 | 13.4 | 17.7 | 16.5 |
| ときどき参加している | 21.4 | 33.6 | 44.3 | 47.0 | 47.8 |
| 参加していないが、今後参加したい | 11.9 | 15.8 | 13.4 | 8.1 | 14.8 |
| 参加しておらず、今後も参加しない | 54.8 | 36.8 | 28.0 | 26.8 | 20.9 |
| 無回答 | 0.0 | 2.0 | 0.8 | 0.5 | 0.0 |

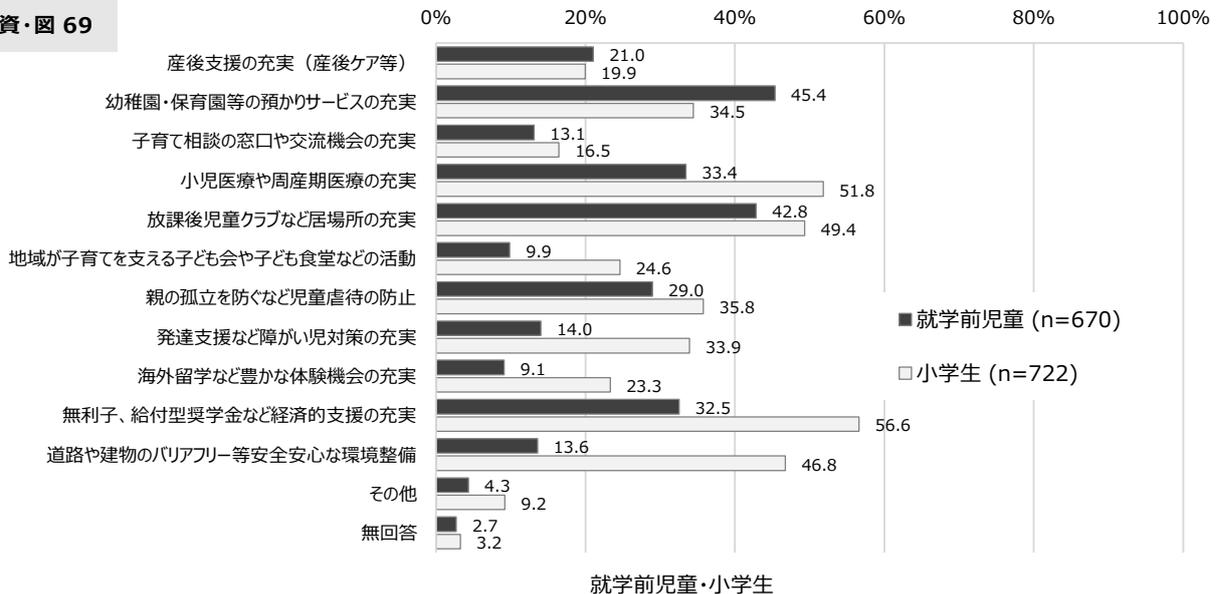
(19) 必要性が高く充実を期待する市の施策

| | | |
|-------|--------|---|
| 就学前児童 | 問 34 | 子育て支援施策について、市が重点的に取り組む必要が高いと思われるものは何だと思いますか。当てはまるもの3つまで○をつけてください。 |
| 小学生 | 問 33-1 | 市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待していますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。 |

就学前児童では、回答の多い順に「幼稚園・保育園等の預かりサービスの充実」(45.4%)、「放課後児童クラブなど居場所の充実」(42.8%)、「小児医療や周産期医療の充実」(33.4%)、「無利子、給付型奨学金など経済的支援の充実」(32.5%)、「親の孤立を防ぐなど児童虐待の防止」(29.0%)、「産後支援の充実(産後ケア等)」(21.0%) などとなっています。

小学生では「無利子、給付型奨学金など経済的支援の充実」(56.6%) が最も高く、「小児医療や周産期医療の充実」(51.8%)、「放課後児童クラブなど居場所の充実」(49.4%)、「道路や建物のバリアフリー等安全安心な環境整備」(46.8%)、「親の孤立を防ぐなど児童虐待の防止」(35.8%)、「幼稚園・保育園等の預かりサービスの充実」(34.5%)、「発達支援など障がい児対策の充実」(33.9%) などが続いています。

資・図 69



(20) 自由意見

| | | |
|-------|--------|---|
| 就学前児童 | 問 37 | 岩見沢市における子育ての環境や支援策の満足度について、当てはまるもの（大変満足～大変不満）1つに○をつけてください。その理由をお書きください。 |
| | 問 37-1 | |
| | 問 38 | 最後に教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、自由にご記入ください。 |
| 小学生 | 問 35 | 最後に市の子育て支援施策に関するご意見やその他ご意見・ご要望ありましたら、自由にご記入ください。 |

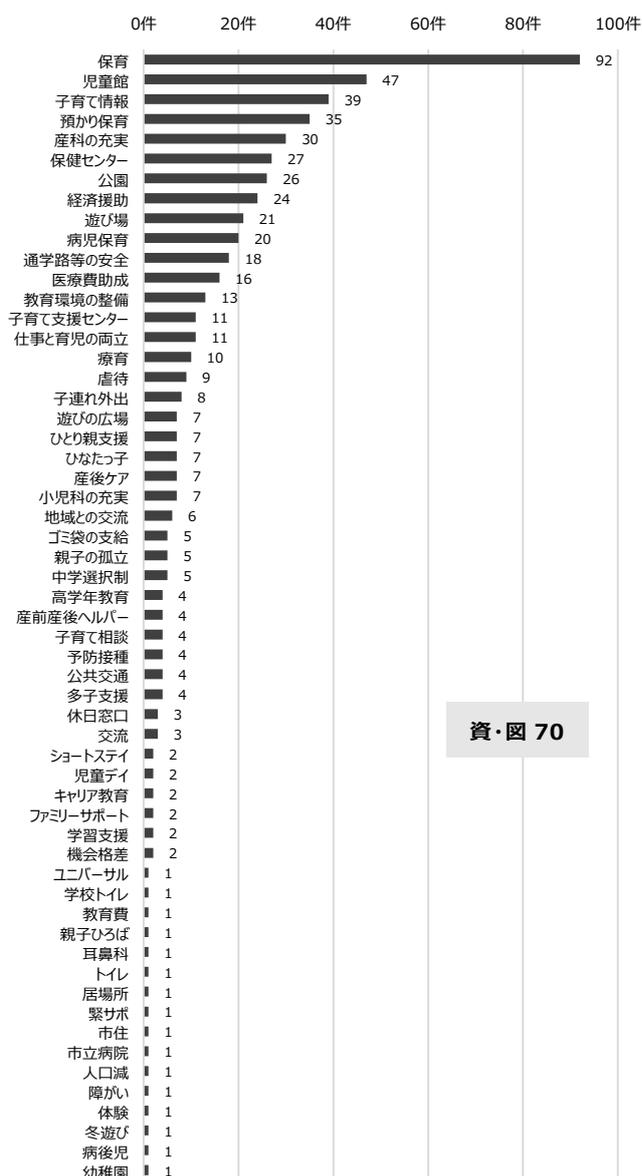
○就学前児童を持つ保護者の意見

「保育」に関すること、小学生に上がって利用する放課後児童クラブの開催場所になる「児童館」に関すること、「子育て情報」に関すること、第4位は、急な用事や休みのときの「預かり保育」、第5位は、「産婦人科」が少ないこと、第6位は「保健センター」の健診に関すること、第7位が「公園」の遊具などに関すること、となっています。

○小学生を持つ保護者からの意見

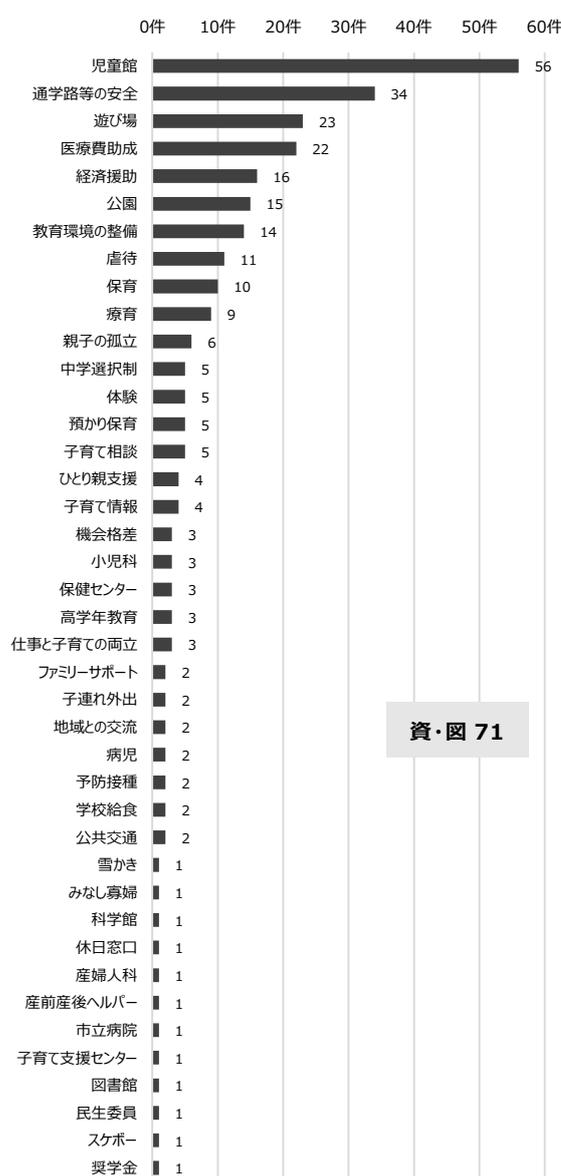
第1位は、放課後児童クラブの開催場所となる「児童館」の立地、夏休み・冬休み期間中の開始時間に関すること、第2位は、「通学路等の安全」に関すること、第3位は、休日に親子が身体を使って遊べる「遊び場」に関すること、第4位は、医療費の無償化に関すること、となっています。第5位の「経済援助」は、スキー用品、学校給食費の負担軽減などを求めるものです。第6位の「公園」については、遊具の充実のほか、水遊びやボール遊びができるなどの意見です。第7位の「教育環境の整備」は、学校によって行事や文化活動、学力に偏りがある学校間格差などの意見です。

子育て支援策、環境に関する自由意見（就学前児童）



資・図 70

子育て支援策に関する自由意見（小学生）



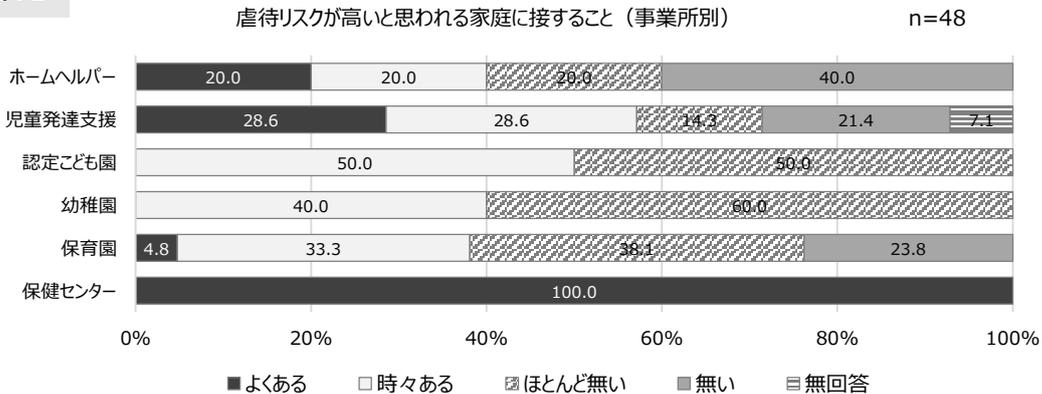
資・図 71

(2) 事業所向けアンケート調査

問 3 普段の活動や事業を実施する中で、養育環境など、子どもにとってリスクが高いと思われる家庭に接することはありますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

虐待リスクが高いと思われる家庭に接することがよくある、時々ある」とする回答は、全体の約半数あり（本編 15 頁）、児童発達支援事業所、ホームヘルパーなどがその機会が多い状況です。

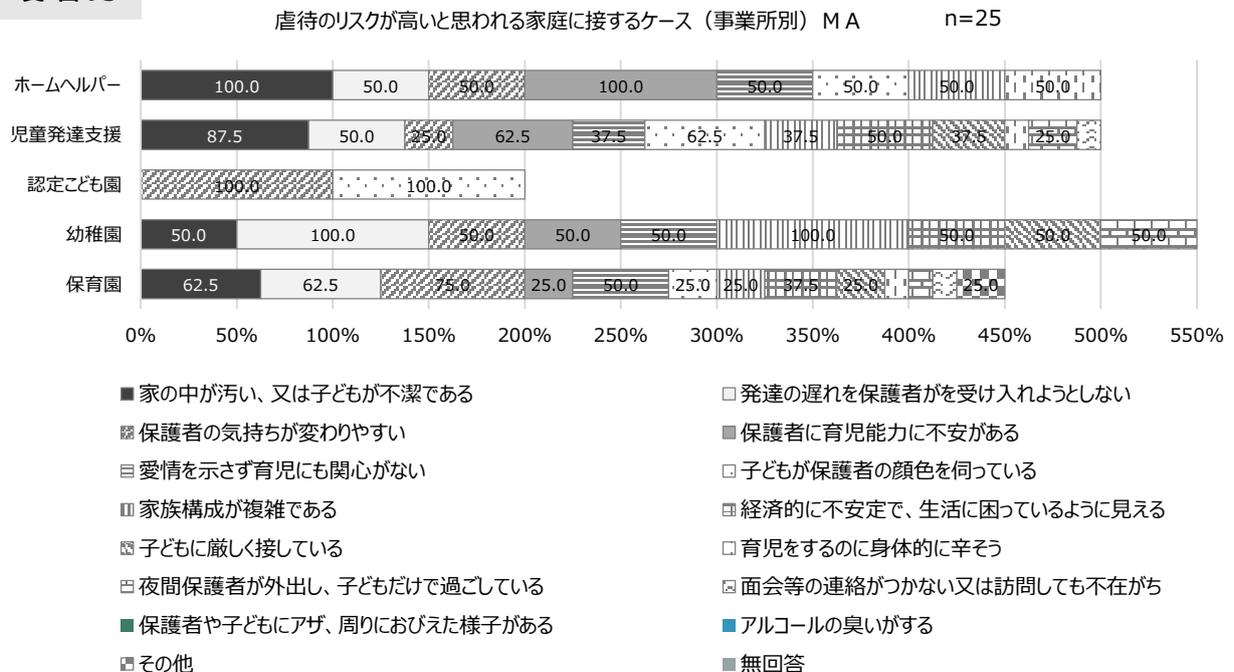
資・図 72



問 4 問 3 で「1.ある」「2.時々ある」に○をつけた方にうかがいます。それはどのようなケースですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

虐待リスクが高いと思われる家庭の特徴は、「家の中が汚い又は子どもが不潔である」「発達の遅れが感じられるが受け入れようとしない」「気持ちが変わりやすく機嫌の良し悪しの幅が大きい」など（本編 15 頁）、日常から送迎などを通して子どもと保護者に接する機会を反映したものとなっています。

資・図 73

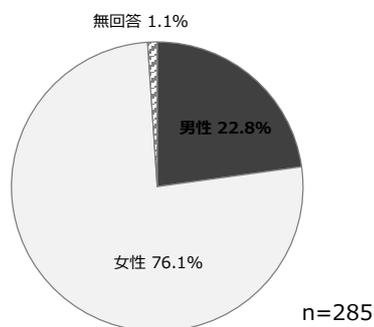


(3) 一般市民向けアンケート調査

問1 あなたの性別は何ですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

回答者の性別は、女性が271人(76.1%)、男性が65人(22.8%)となっています。

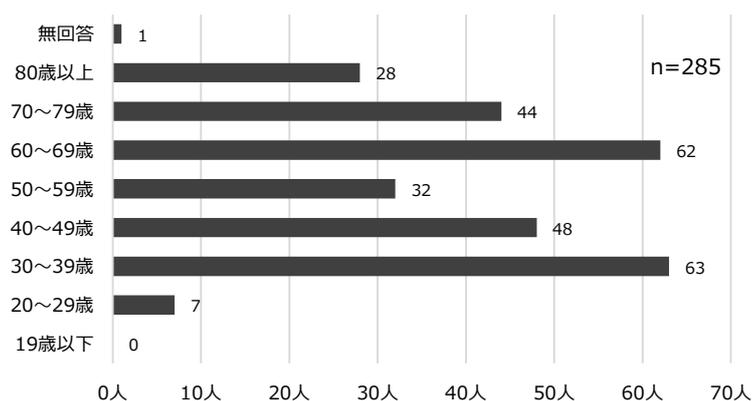
資・図 74



問2 あなたの年齢はおいくつですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

回答者の年齢は、「30歳～39歳」が63人(22.1%)、「60歳～69歳」が62人(21.8%)であり、これら2つの世代の関心が高くなっています。

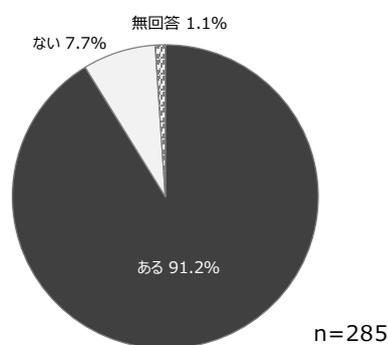
資・図 75



問3 あなたは、子育てをした経験がありますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

回答者の子育て経験は、「ある」が91.2%、「ない」が7.7%となっています。

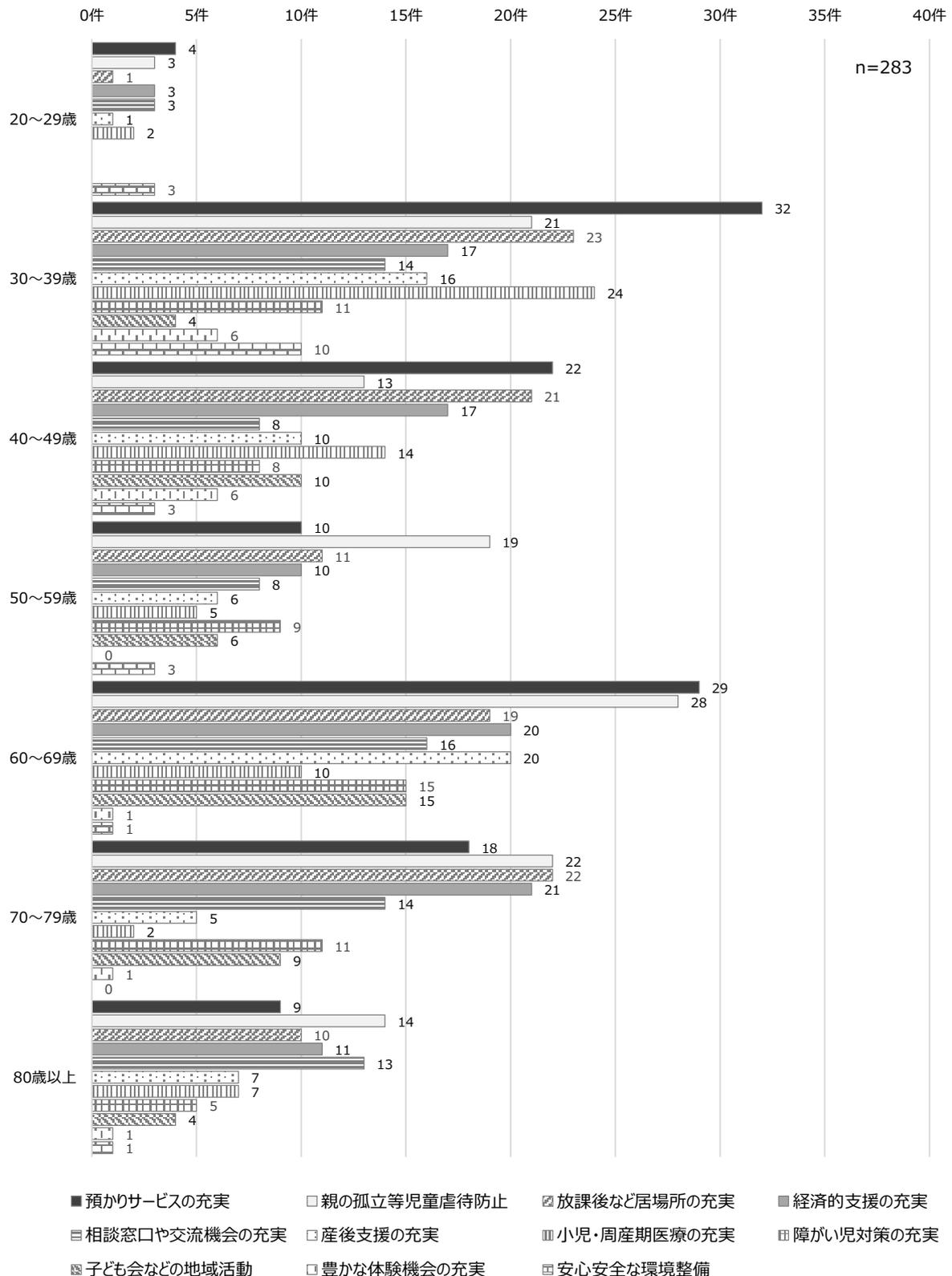
資・図 76



問4 子ども・子育て支援のために市が重点的に取り組む必要が高いと思われるものは何だと思いますか。当てはまるもの3つまで○をつけてください。

回答者の意見を年代別に比較すると、30～39歳は、「預かりサービスの充実」「小児医療の充実」「放課後など居場所の充実」などが、60～69歳では、これらに「親の孤立等児童虐待防止」が上位にあがっています。

資・図 77



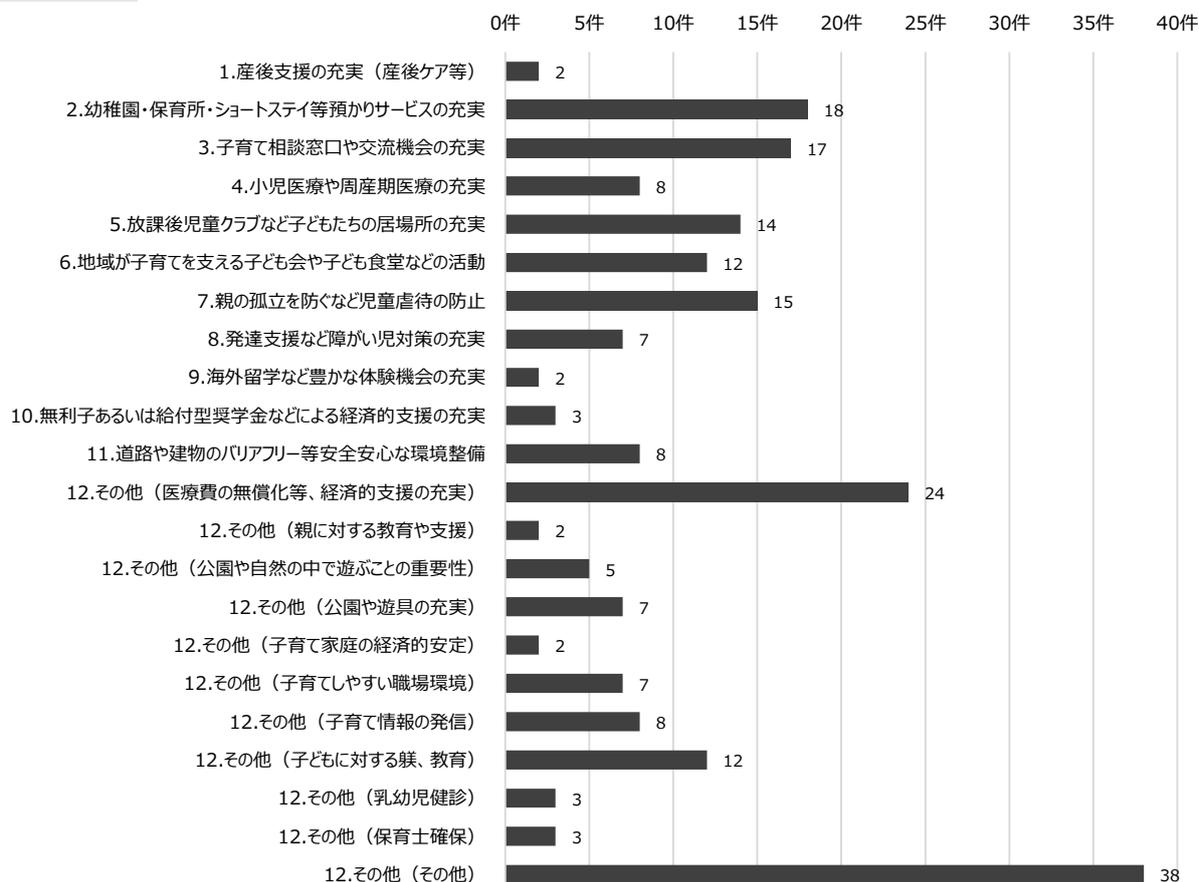
問5 子ども・子育て支援に関して、希望やご意見等がございましたら、自由にご記入ください。

就学前児童と小学生の家庭向けに行ったニーズ調査(3-1)の設問34と33-1をもとに自由意見を分類し、それらに分類されないものを「その他のその他」とします。その結果、第1位が医療費の無償化や経済的支援の充実、第2位が幼稚園、保育所、ショートステイなど預かりサービスの充実、第3位が子育て相談窓口や交流機会の充実、第4位が親の孤立を防ぐなど児童虐待の防止となっています。

資・図 78

広報いわみざわ7月号折込み、市民向けアンケート(自由意見)

n=217



第2期 岩見沢市子ども・子育てプラン

第2期岩見沢市子ども・子育て支援事業計画

次世代育成支援行動計画／児童虐待防止計画／子どもの貧困対策推進計画

発行日：令和2（2020）年3月31日

発行：岩見沢市

編集：岩見沢市教育委員会事務局 教育部 子ども課

〒068-0024

北海道岩見沢市4条西3丁目1番地 であえーる岩見沢4階

TEL 0126-35-5133 FAX 0126-25-2995

<http://www.city.iwamizawa.hokkaido.jp>
